

第3回 弥富市地域公共交通活性化協議会（資料）

目 次

1. 地域公共交通の現状分析	1
1-1 地域の概況	1
1-1-1 人口動向	1
1-1-2 主要施設	3
1-1-3 交通量	5
1-2 きんちゃんバスの状況	7
1-2-1 きんちゃんバス運行の概要	7
1-2-2 利用者実態調査	10
1-2-3 バス停乗降者数調査	23
1-2-4 収入及び運行経費	29
1-2-5 周知・利用促進策	31
1-2-6 その他公共交通との乗り換え	40
1-2-7 住民・利用者アンケート調査	44
1-3 福祉タクシー	53
1-3-1 心身障害者福祉タクシー料金助成事業	53
1-3-2 高齢者等福祉タクシー料金助成事業	54
2. 上位・関連計画	55
2-1 弥富市総合計画（平成 21 年 3 月）	55
2-1-1 基本構想（平成 21 年 3 月）	55
2-1-2 基本計画（平成 26 年 3 月）	56
2-1-3 実施計画（平成 25 年 4 月）	56
2-2 弥富市都市計画マスタープラン（平成 21 年 3 月）	57
2-3 弥富市地域公共交通総合連携計画（平成 22 年 3 月）	60
3. 問題点・課題の整理	62
4. 第2期弥富市地域公共交通総合連携計画	64
4-1 計画期間	64
4-2 計画の内容	64
4-3 基本方針	65
4-4 地域公共交通の連携の考え方	65
4-5 基本方針に基づく目標と取り組み	66

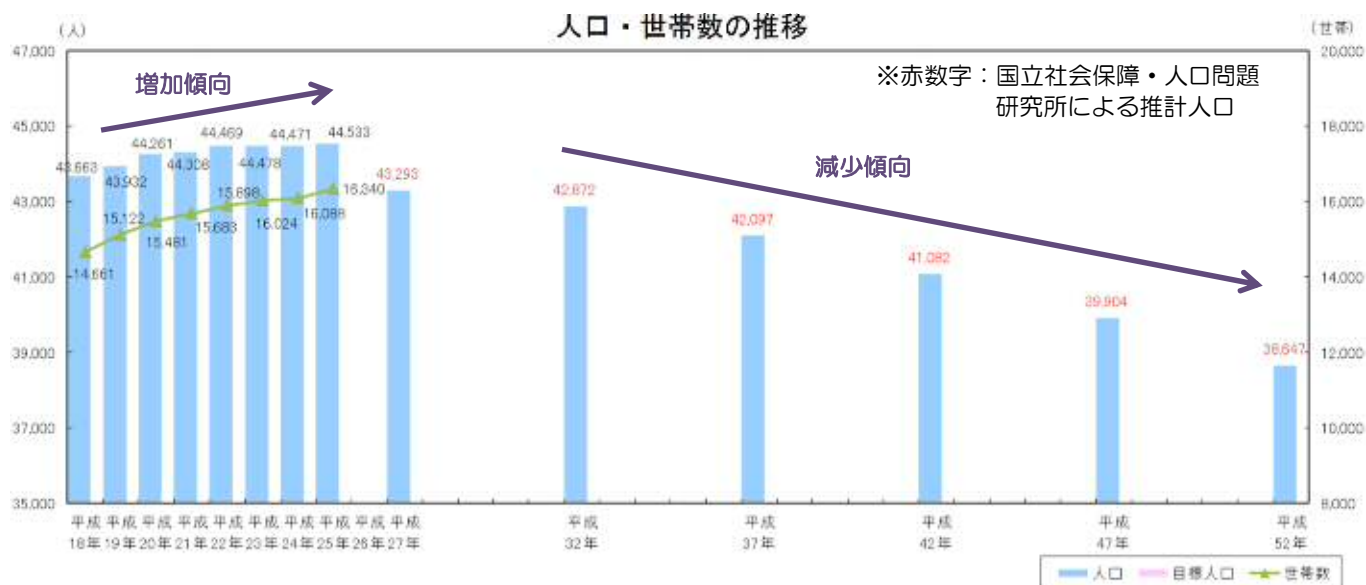
1. 地域公共交通の現状分析

1-1 地域の概況

1-1-1 人口動向

(1) 人口・世帯数の推移

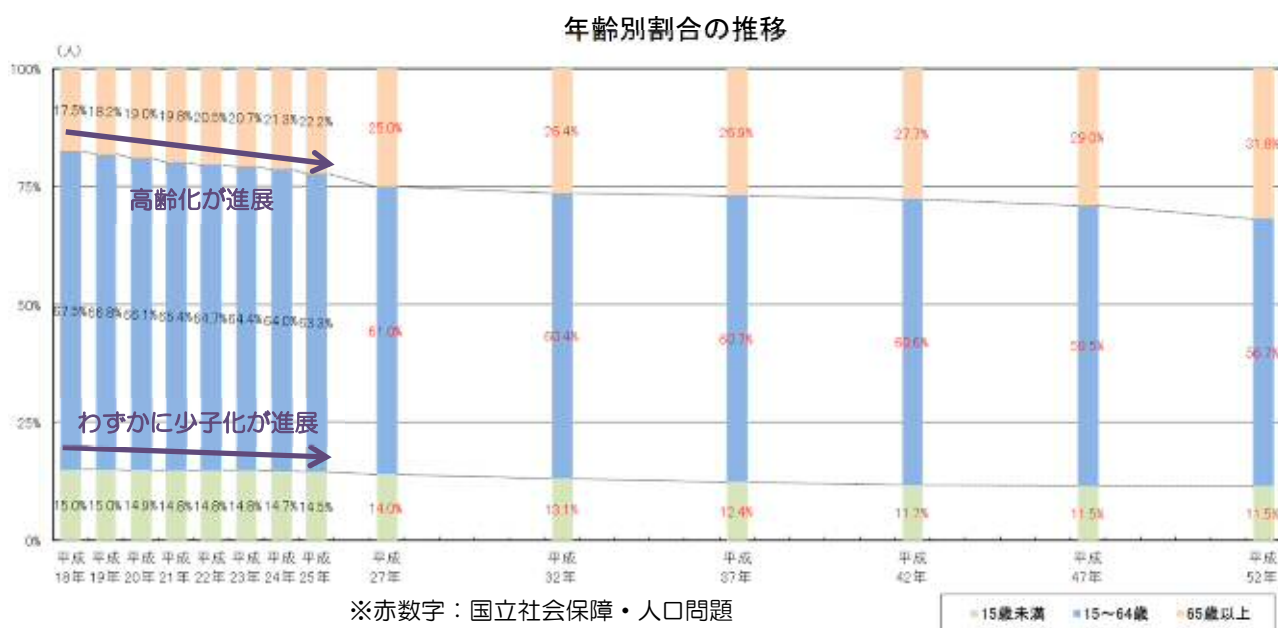
- 人口、世帯数ともに経年的に増加しており、平成 25 年には 44,533 人、16,340 世帯となっている。
- 国立社会保障・人口問題研究所による将来の推計人口は、減少傾向となっているが、平成 27 年に 43,293 人と、現在の弥富市の人口から見ると少なく予想されている。



※資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日）

(2) 年齢別人口の割合の推移

- 年齢別人口の割合は、高齢人口の割合の増加が大きく、高齢化が進展している。
- 国立社会保障・人口問題研究所による将来の推計によると、平成 27 年には高齢化率が 25.0%を超え、その後も高齢化が進展すると予測されている。

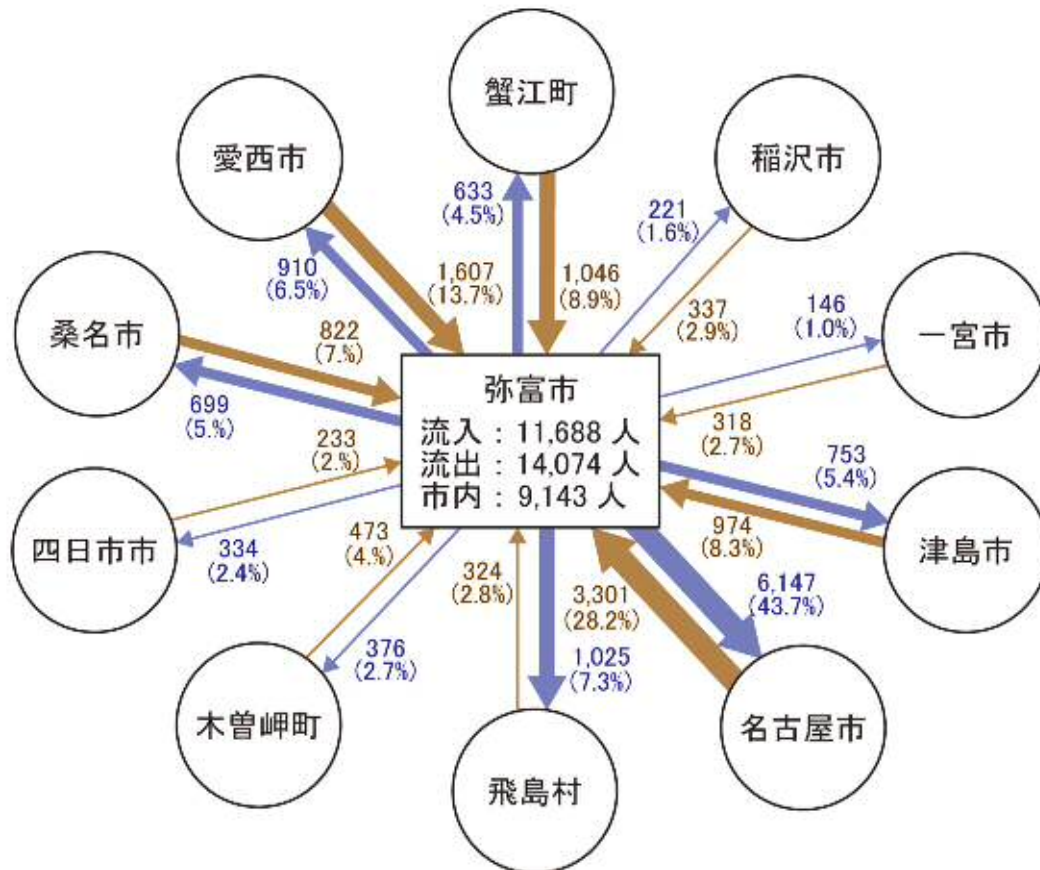


※資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日）

(3) 通勤・通学による人口流動

- 通勤・通学による人口流動は、流出、流入ともに名古屋市が最も多くなっている。また、愛西市や蟹江町、津島市など本市周辺の市町村で多くなっている。

通勤・通学（15 歳以上）による人口流動



※資料：平成 22 年国勢調査

1-1-2 主要施設

(1) 公共施設

- 市街化区域内の弥富駅周辺には、市民の生活を支える市役所をはじめとする官公庁、文化、教育、福祉等の公共施設が集積し行政サービスの中心的な役割を担っている。
- 十四山支所周辺や国道 1 号より北側の市街化調整区域には、公共施設が均等に点在している。
- 中部や南部では、公共施設が少ない状態となっている。

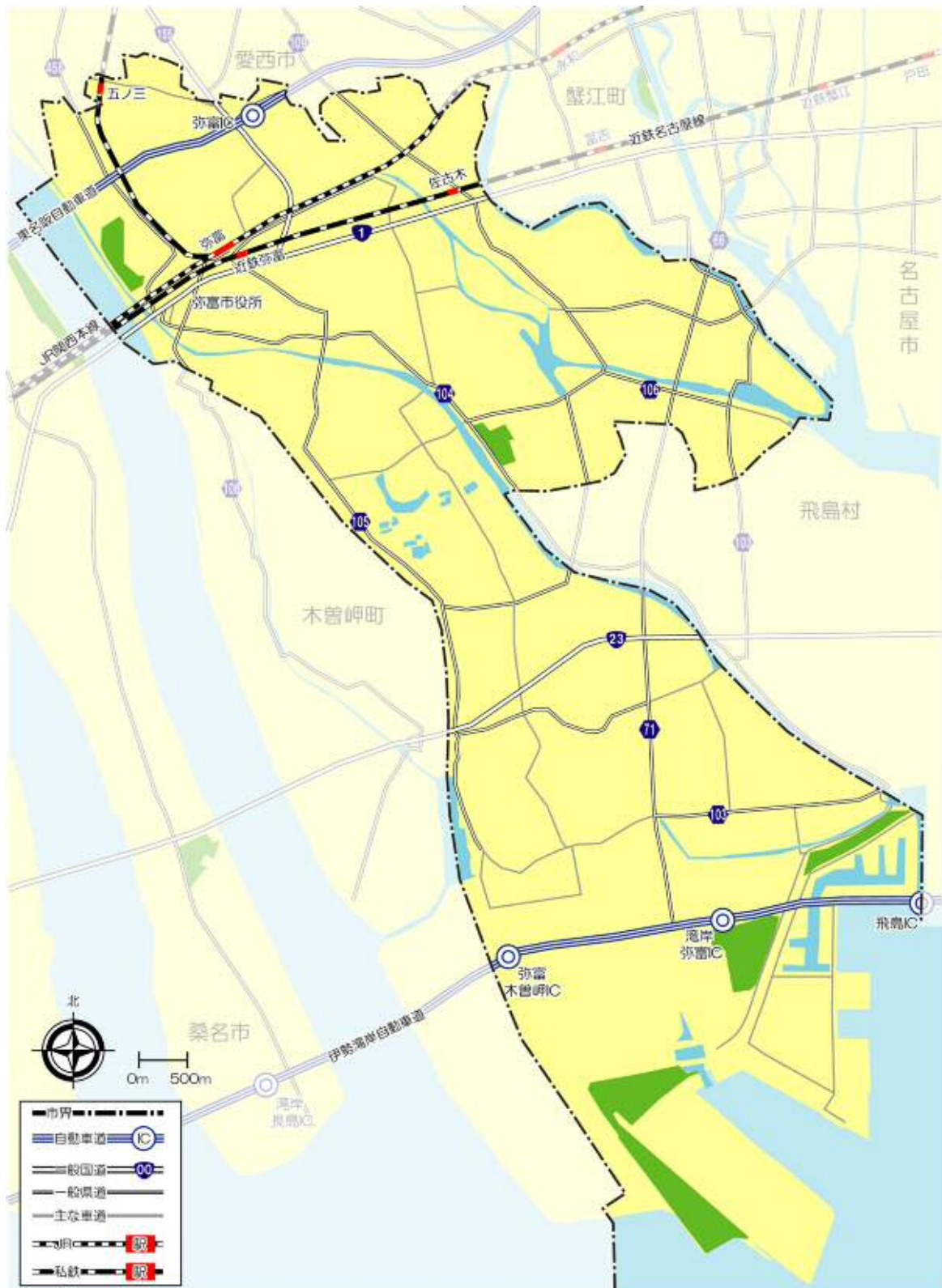
主要公共施設の分布



(2) 道路および鉄道

- 道路は、北部に東名阪自動車道と一般国道 1 号、南部に伊勢湾岸自動車道と一般国道 23 号がそれぞれ東西に横断し、周辺都市との広域的なネットワークの軸となっている。
- 鉄道は、JR 関西本線、名鉄尾西線、近鉄名古屋線の 3 路線が走り、JR 弥富駅、名鉄弥富駅、五ノ三駅、近鉄弥富駅、佐古木駅の 5 つの駅がある。

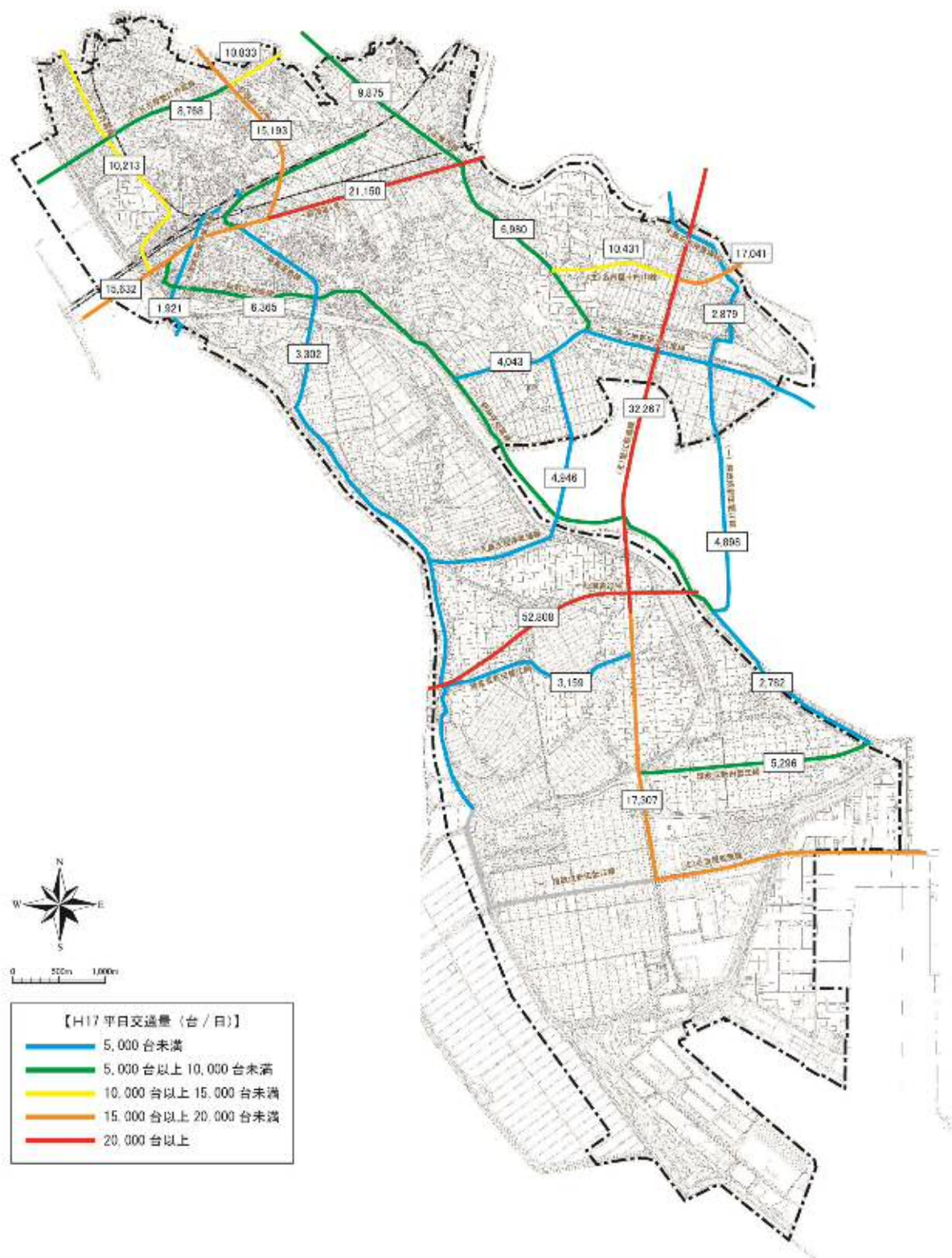
道路網および鉄道網



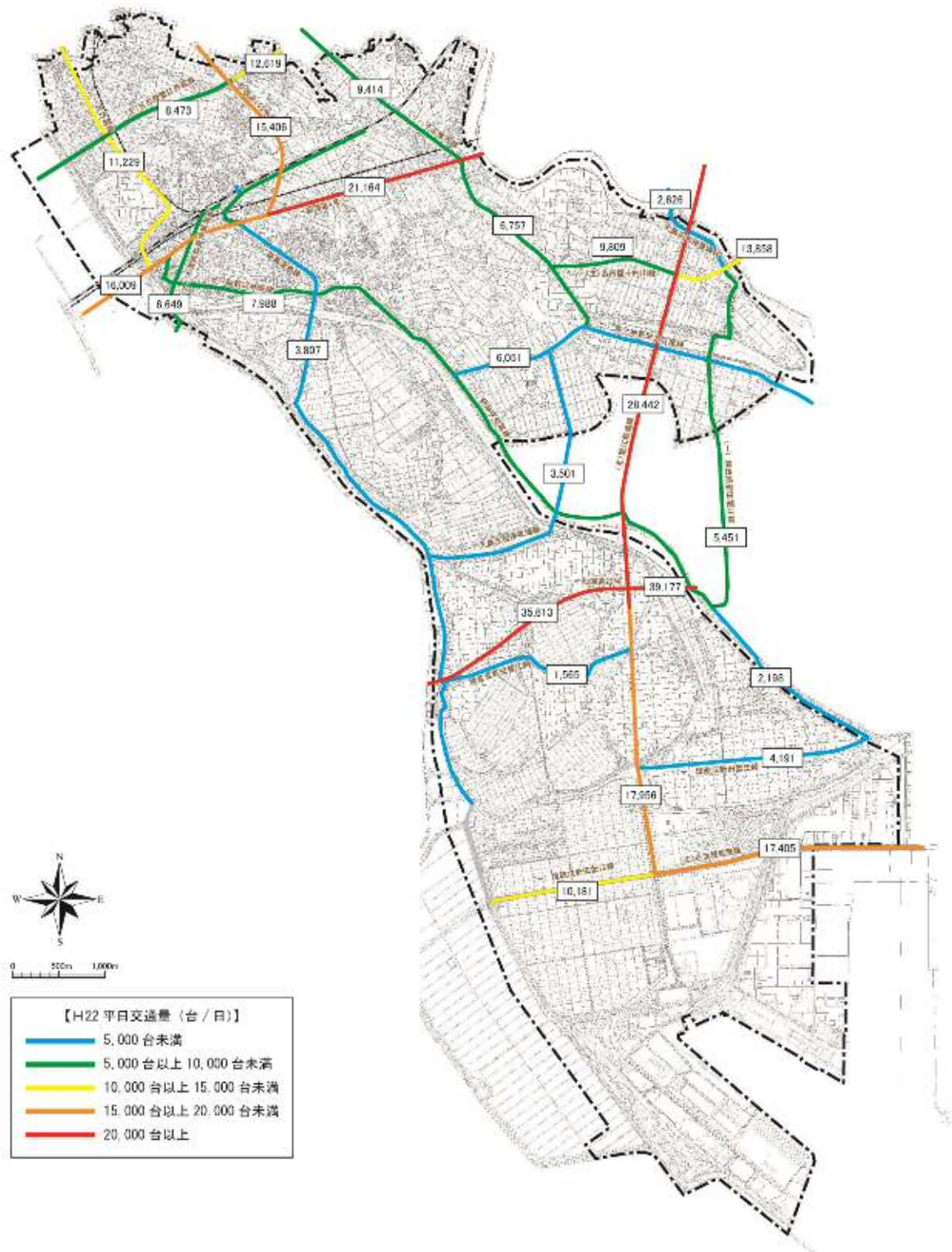
1-1-3 交通量

- 道路交通センサスにおける平成 22 年の交通量の状況は、一般国道 1 号や一般国道 23 号、(主)蟹江飛島線で 2 万台/日以上と非常に多くなっている。
- 平成 17 年道路交通センサスと比較すると、多少の増減はあるものの、大きな変化は見られない。

平成 17 年道路交通センサスにおける交通量の状況



平成 22 年道路交通センサスにおける交通量の状況



1-2 きんちゃんバスの状況

1-2-1 きんちゃんバス運行の概要

(1) これまでの運行の経緯

現行のきんちゃんバスの前身となる巡回福祉バスを含めた、これまでの運行の経緯を整理する。

これまでの運行の経緯

H11.1.11	巡回福祉バス運行開始 →60 歳以上で総合福祉センターの利用者を対象 →無料 →日曜日、祝日、年末年始運休
H11.4.1	3 系統に変更 →年齢制限の撤廃 →2 車両で運行
H15.1.1	4 系統に変更 →「きんちゃんバス」として運行 →3 車両で運行
H16.5.1	5 系統に変更 →停留所数を 48 箇所へ増設
H17.6.1	E 系統を近鉄弥富駅南口まで延伸
H18.4.1	運行エリアに十四山地区を追加 5 系統で運行 →ダイヤ変更
H19.6.1	運行経路、ダイヤ変更 →停留所数を 98 箇所へ増設（臨時停留所 1 箇所） →4 車両で運行
H21.7	「弥富市地域公共交通活性化協議会」発足
H22.3	「弥富市地域公共交通総合連携計画」策定
H22.6.21	無料巡回福祉バス廃止、「弥富市コミュニティバス」実証運行開始 →3 系統で運行（北部・南部・東部ルート） →毎日運行 →ダイヤ変更、停留所の見直し →有料化（75 歳以上は無料）
H23.4.1	運行ルート・ダイヤ変更 →年末年始運休 →バス停の新設 →夜の時間帯の利用の少ない便の削減 →全ルート総合福祉センターおよびイオンタウンへ乗り入れ →定期券、シルバーバスの販売開始 →協賛金事業開始 →愛称を「きんちゃんバス」に決定（公募）
H24.4.1	実証運行終了、本格運行開始 運行ルート・ダイヤ変更 →年末年始、日曜日、祝日運休 →バス停の新設 →朝・夕の時間帯の利用の少ない便の削減 →サイクル&バスライド駐輪場運用開始
H25.10.1	運行ダイヤ変更 →北部ルートの朝・夕の時間帯の利用の少ない便の削減 →飛島公共交通バス蟹江線に合わせた、東部ルートのダイヤ変更 →サイクル&バスライド駐輪場の増設

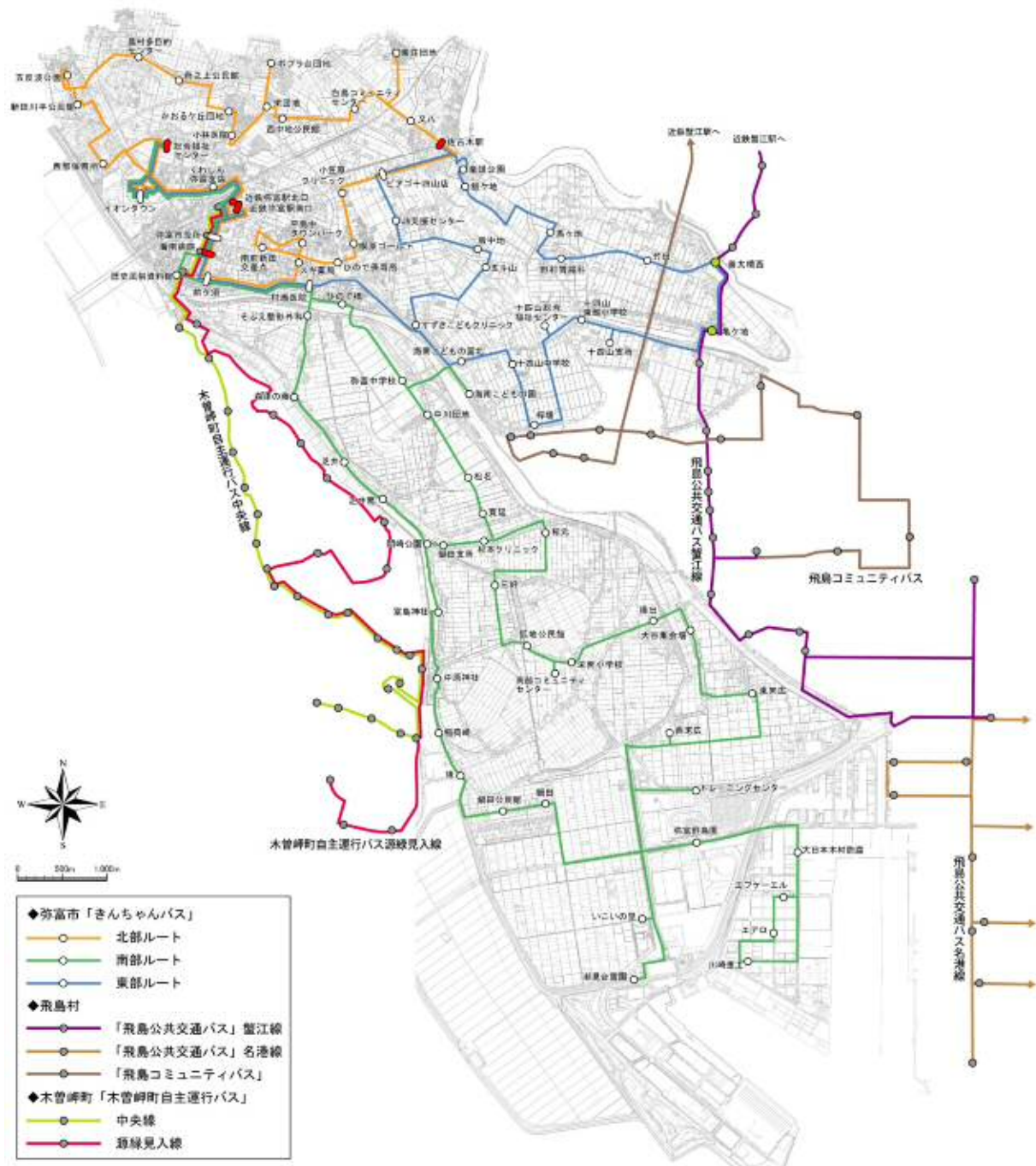
(2) 現在のきんちゃんバスの概要

きんちゃんバスは、コミュニティバスとしての実証運行が開始して以降毎年改善を繰り返しており、現在は下記のような内容で運行している。

現在のきんちゃんバスの概要

運行路線	● 北部ルート...平日 11 便、土曜日 11 便（右回り・左回り） ● 南部ルート...平日 15 便、土曜日 10 便（右回り・左回り） ● 東部ルート...平日 5 便、土曜日 4 便（右回り・左回り）			
運行日	年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）、日曜日、祝日は運休 平日ダイヤ、土曜日ダイヤで運行			
バス車両	● 中型ノンステップバス 2 台 ● マイクロバス 3 台			
運賃	大人 200 円 小学生から高校生 100 円 障がい者（手帳所持者）・同伴の介護者 100 円 75 歳以上・未就学児 無料 回数券（大人） 2,000 円（12 枚） 回数券（高校生以下・障がい者） 1,000 円（12 枚）			
定期券	●定期乗車券 （大人）	1 ヶ月	6,000 円	
		3 ヶ月	17,100 円	
		6 ヶ月	32,400 円	
		（高校生以下・障がい者）	1 ヶ月	3,000 円
			3 ヶ月	8,600 円
			6 ヶ月	16,200 円
	●シルバーパス （65 歳以上）	1 ヶ月	3,000 円	
		3 ヶ月	8,600 円	
		6 ヶ月	16,200 円	

現在の運行ルート図



1-2-2 利用者実態調査

※集計期間：H22. 6. 21～H25. 12. 28

(1) ルート別乗車人員の推移

①全ルート

- 全ルートを足し合わせた乗車人員は昨年度よりも概ね増加傾向となっており、一日平均乗車人員も増加している。
- 平日・休日別の一日平均乗車人員でみると、平日は増加しているが、休日はほぼ横ばいとなっている。

※平成 24 年度以降の休日運行は、土曜日運行のみ

乗車人員の推移（全ルート）



H24 年度平均

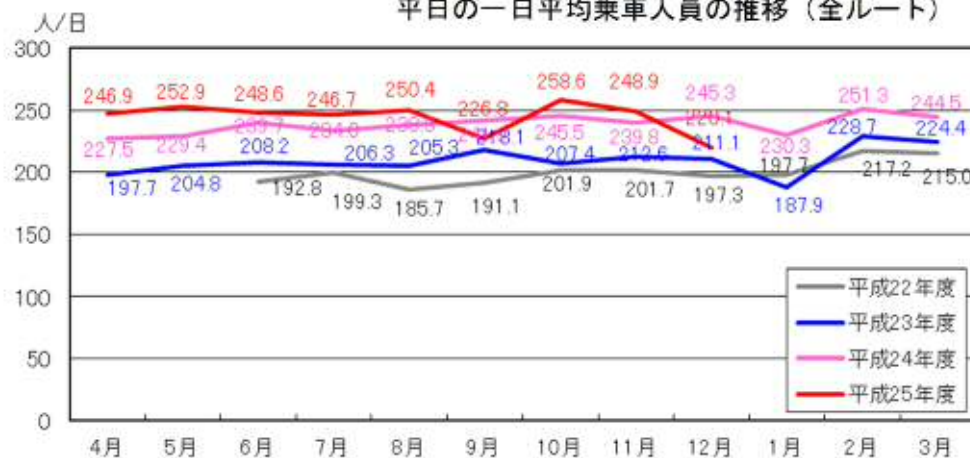
234.8 人/日



H25 年度平均（4～12月）

238.7 人/日

平日の一日平均乗車人員の推移（全ルート）



H24 年度平均

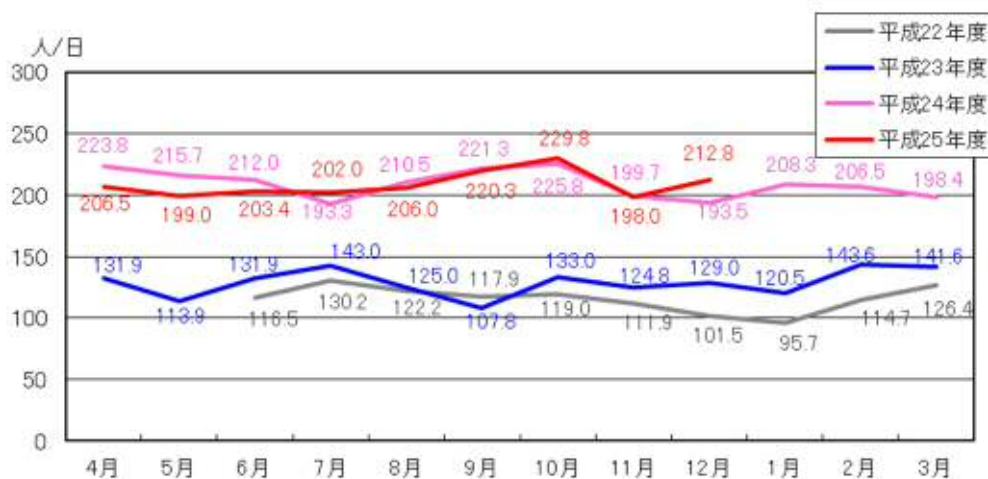
239.9 人/日



H25 年度平均（4～12月）

244.7 人/日

休日の一日平均乗車人員の推移（全ルート）



H24 年度平均

208.9 人/日



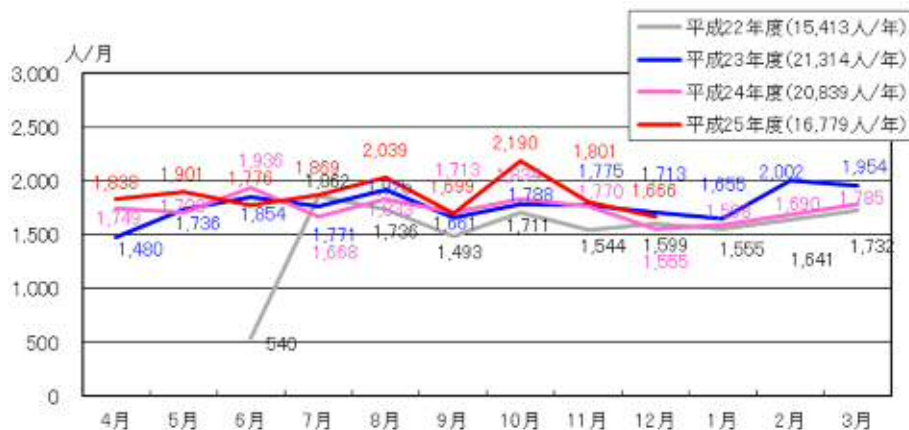
H25 年度平均（4～12月）

208.7 人/日

②北部ルート

- 北部ルートの乗車人員は昨年度よりも概ね増加傾向となっており、一日平均乗車人員も増加している。
- 平日・休日別でみても、ともに増加している。

※平成 24 年度以降の休日運行は、土曜日運行のみ
乗車人員の推移（北部ルート）



H24 年度平均

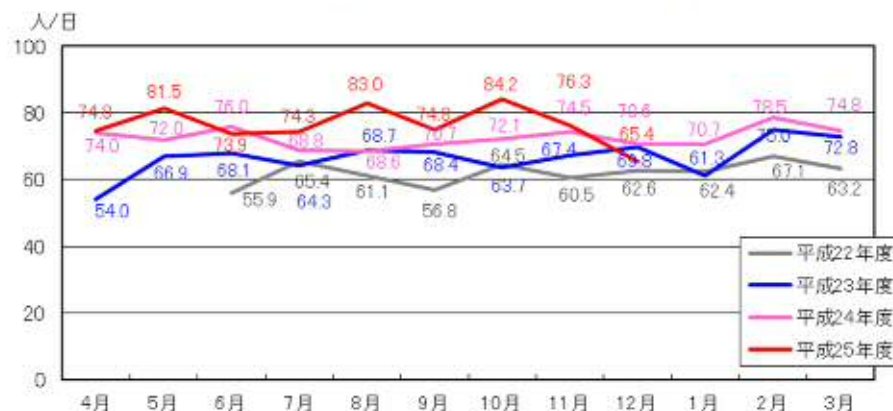
71.1 人/日



H25 年度平均（4～12 月）

74.9 人/日

平日の一日平均乗車人員の推移（北部ルート）



H24 年度平均

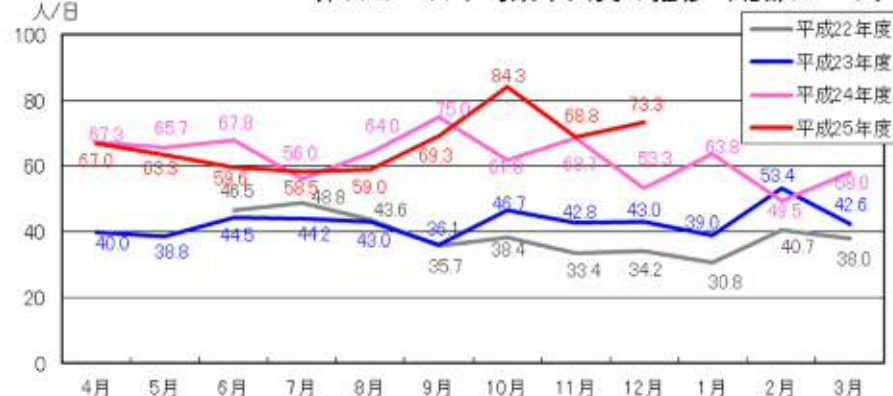
72.8 人/日



H25 年度平均（4～12 月）

76.5 人/日

休日の一日平均乗車人員の推移（北部ルート）



H24 年度平均

62.4 人/日



H25 年度平均（4～12 月）

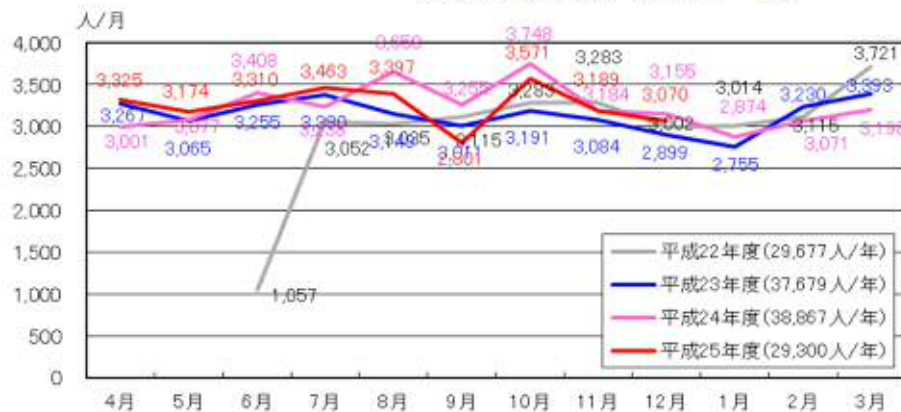
66.7 人/日

③南部ルート

- 南部ルートの乗車人員は昨年度よりも減少傾向となっており、一日平均乗車人員も減少している。
- 平日・休日別でみても、ともに減少している。

※平成24年度以降の休日運行は、土曜日運行のみ

乗車人員の推移（南部ルート）



H24 年度平均

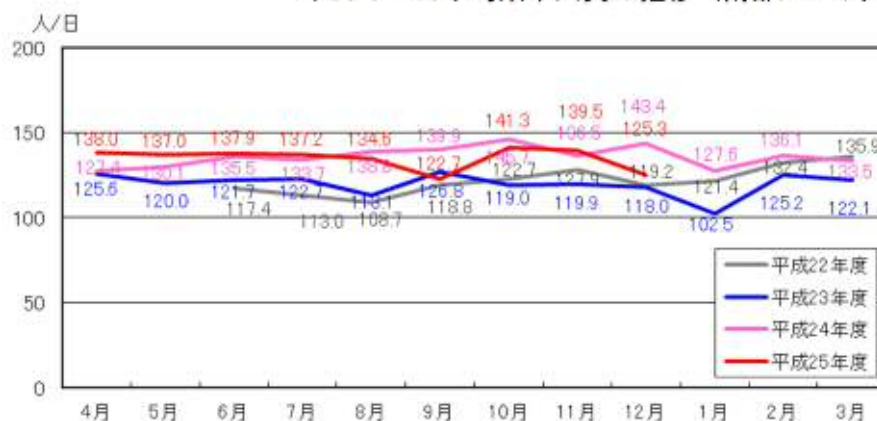
132.7 人/日



H25 年度平均（4～12 月）

130.8 人/日

平日の一日平均乗車人員の推移（南部ルート）



H24 年度平均

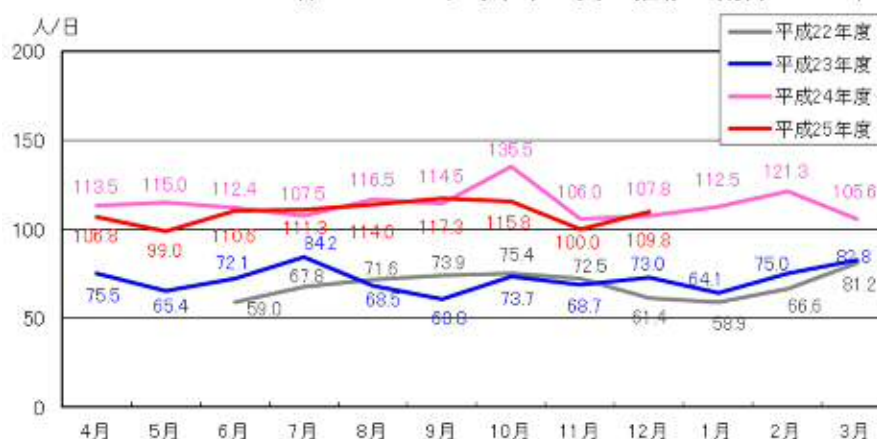
136.3 人/日



H25 年度平均（4～12 月）

135.0 人/日

休日の一日平均乗車人員の推移（南部ルート）



H24 年度平均

113.9 /日



H25 年度平均（4～12 月）

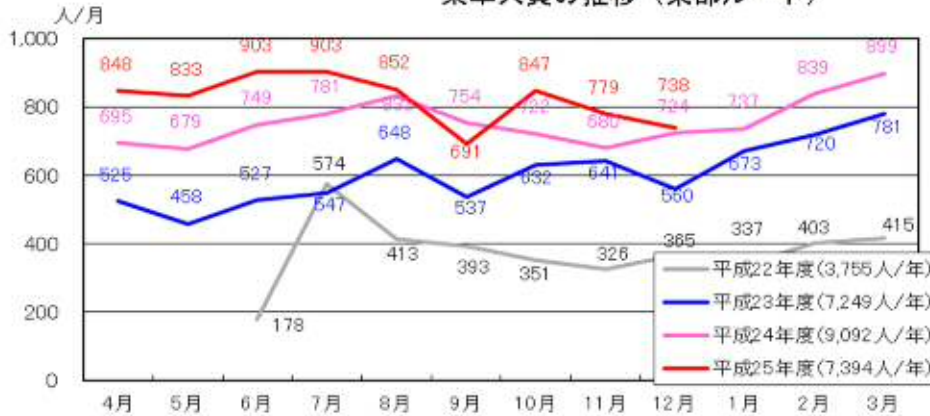
109.8 /日

④東部ルート

- 東部ルートの乗車人員は昨年度よりも増加傾向となっており、一日平均乗車人員も増加している。
- 平日・休日別でみると、平日では増加しているが、休日ではわずかに減少している。

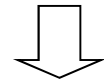
※平成24年度以降の休日運行は、土曜日運行のみ

乗車人員の推移（東部ルート）



H24 年度平均

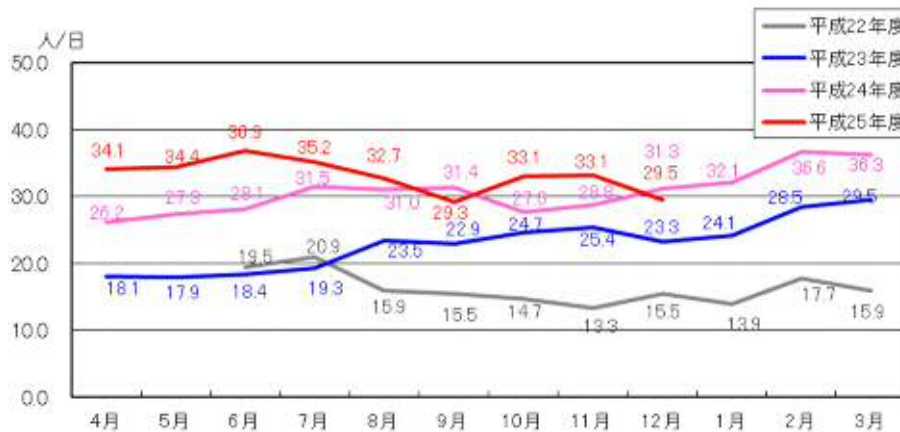
31.0 人/日



H25 年度平均（4～12月）

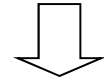
33.0 人/日

平日の一日平均乗車人員の推移（東部ルート）



H24 年度平均

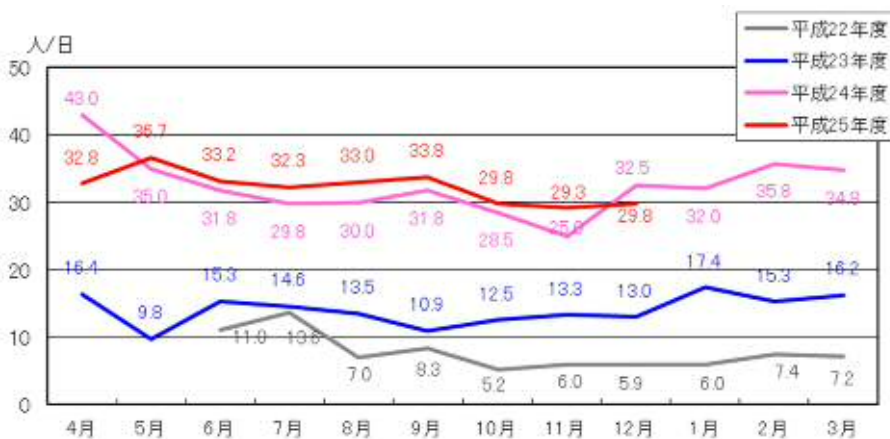
30.7 人/日



H25 年度平均（4～12月）

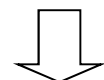
33.2 人/日

休日の一日平均乗車人員の推移（東部ルート）



H24 年度平均

32.6 人/日



H25 年度平均（4～12月）

32.2 人/日

⑤ルート別乗車人員のまとめ

- 平成 24 年度から平成 25 年度への一日平均乗車人員および一便平均乗車人員は、全体としては増加しているものの、南部ルートでは平日、休日ともに減少している。

※平成 24 年度以降の休日運行は、土曜日運行のみ

ルート別期間別一日平均乗車人員（人/日）

	H23.4.1 ダイヤ改正	H24.4.1 ダイヤ改正	H25.10.1 ダイヤ改正	H25.10.1 ダイヤ改正			
	H22年度 (H22.6.21～)	H23年度	H24年度	H25年度 (～H25.12)	H25年度 (H25.4～10)	H25年度 (H25.10～12)	H24年度から H25年度への増減
年間運行日数(日)	284	361	293	224	149	75	-69
平日	190	243	245	187	124	63	-58
休日	94	118	48	37	25	12	-11
全体	172.0	182.9	234.8	238.7	239.1	238.0	+3.9
北部ルート	54.3	58.9	71.1	74.9	74.6	75.4	+3.8
南部ルート	104.5	104.0	132.7	130.8	130.7	131.1	-1.8
東部ルート	13.2	20.0	31.0	33.0	33.8	31.5	+2.0
平日	200.4	209.4	239.9	244.7	245.7	242.7	+4.8
北部ルート	62.3	66.8	72.8	76.5	77.1	75.4	+3.7
南部ルート	121.9	119.6	136.3	135.0	134.8	135.4	-1.4
東部ルート	16.1	23.0	30.7	33.2	33.8	31.9	+2.5
休日	114.6	128.4	208.9	208.7	206.4	213.5	-0.3
北部ルート	38.0	42.6	62.4	66.7	62.5	75.4	+4.3
南部ルート	69.2	71.9	113.9	109.8	110.4	108.5	-4.1
東部ルート	7.4	13.9	32.6	32.2	33.4	29.6	-0.4

ルート別期間別一便あたり平均乗車人員（人/便）

	H22年度 (H22.6.21～)	H23年度	H24年度	H25年度 (～H25.12)	H25年度 (H25.4～10)	H25年度 (H25.10～12)	H24年度から H25年度への増減
年間運行便数(便)	13,168	13,871	9,823	7,243	4,990	2,253	-2,580
平日	9,690	10,449	8,575	6,293	4,340	1,953	-2,282
休日	3,478	3,422	1,248	950	650	300	-298
全体	3.7	4.6	7.0	7.4	7.1	7.9	+0.4
北部ルート	2.7	3.3	4.9	5.6	5.1	6.9	+0.7
南部ルート	6.1	7.8	9.4	9.2	9.2	9.2	-0.1
東部ルート	1.4	2.9	6.4	6.8	7.0	6.5	+0.4
平日	3.9	4.9	6.9	7.3	7.0	7.8	+0.4
北部ルート	2.8	3.3	4.9	5.6	5.1	6.9	+0.8
南部ルート	6.4	8.0	9.1	9.0	9.0	9.0	-0.1
東部ルート	1.6	2.9	6.1	6.6	6.8	6.4	+0.5
休日	3.1	4.4	8.0	8.1	7.9	8.5	+0.1
北部ルート	2.4	3.0	5.2	5.7	5.2	6.9	+0.5
南部ルート	5.3	7.2	11.4	11.0	11.0	10.9	-0.4
東部ルート	0.9	2.8	8.2	8.0	8.4	7.4	-0.1

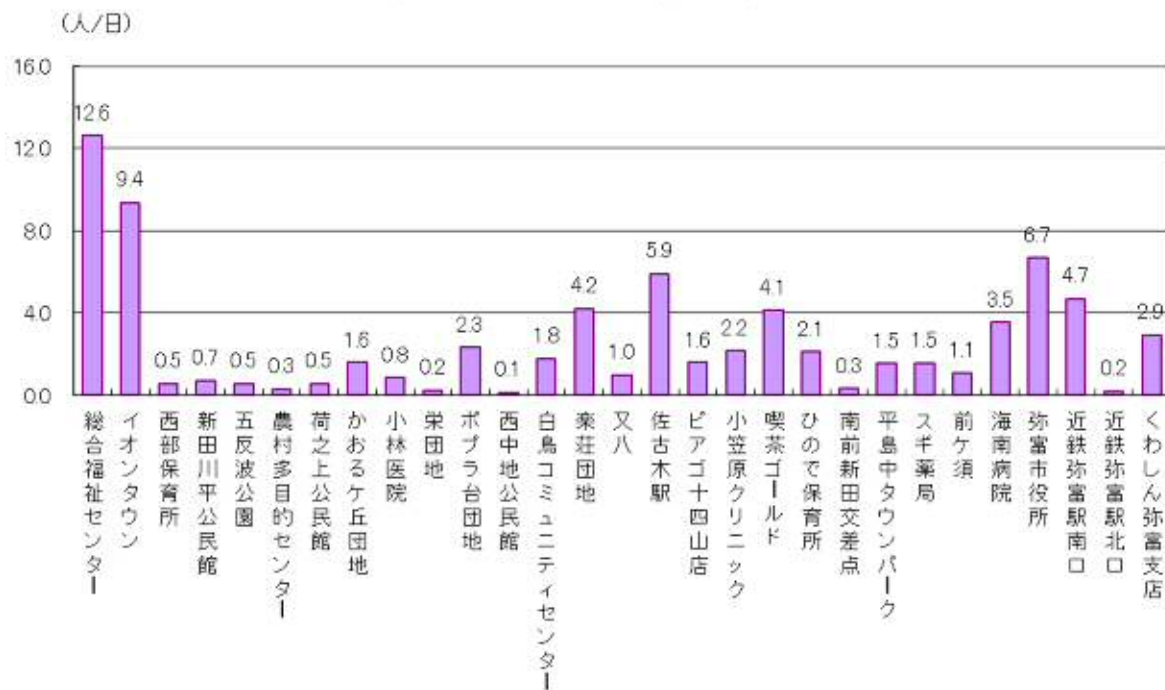
(2) ルート別バス停別一日平均乗車人員

※集計期間 H25. 4. 1～H25. 12. 28 (平日 187 日、休日 37 日、計 224 日)

①北部ルート

- 「総合福祉センター」「イオンタウン」「弥富市役所」「佐古木駅」の利用者が多い。

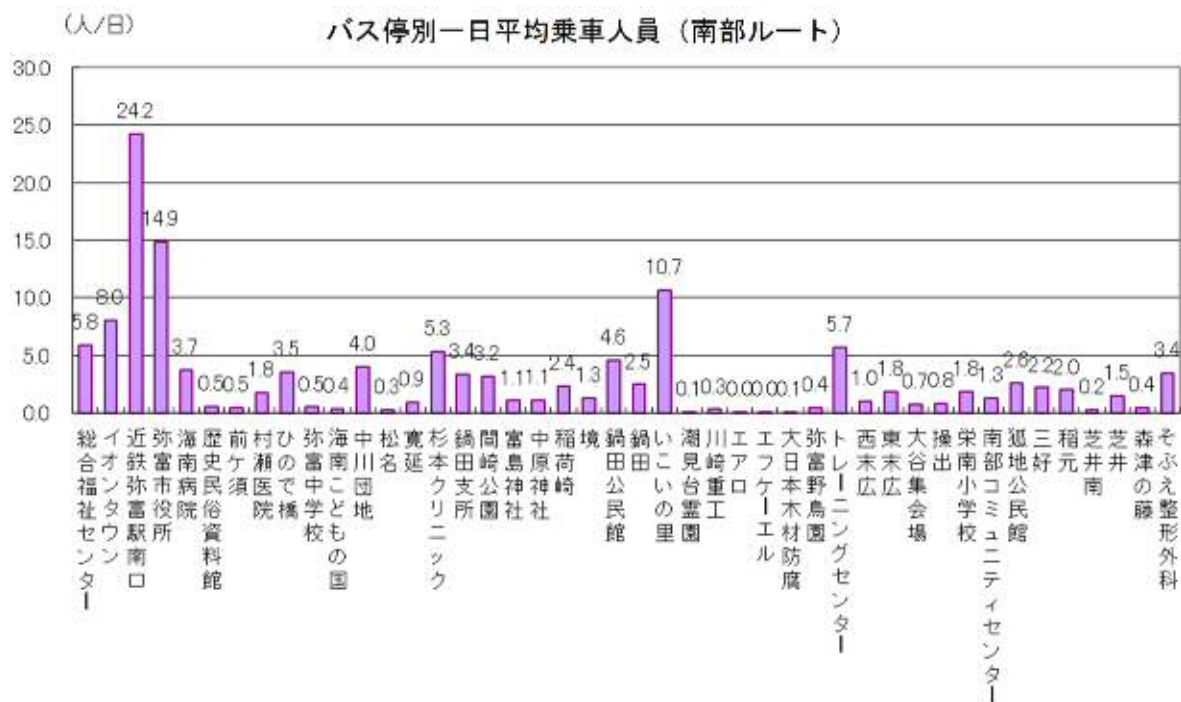
バス停別一日平均乗車人員 (北部ルート)



②南部ルート

- 「近鉄弥富駅南口」「弥富市役所」「いこいの里」の利用者が多い。

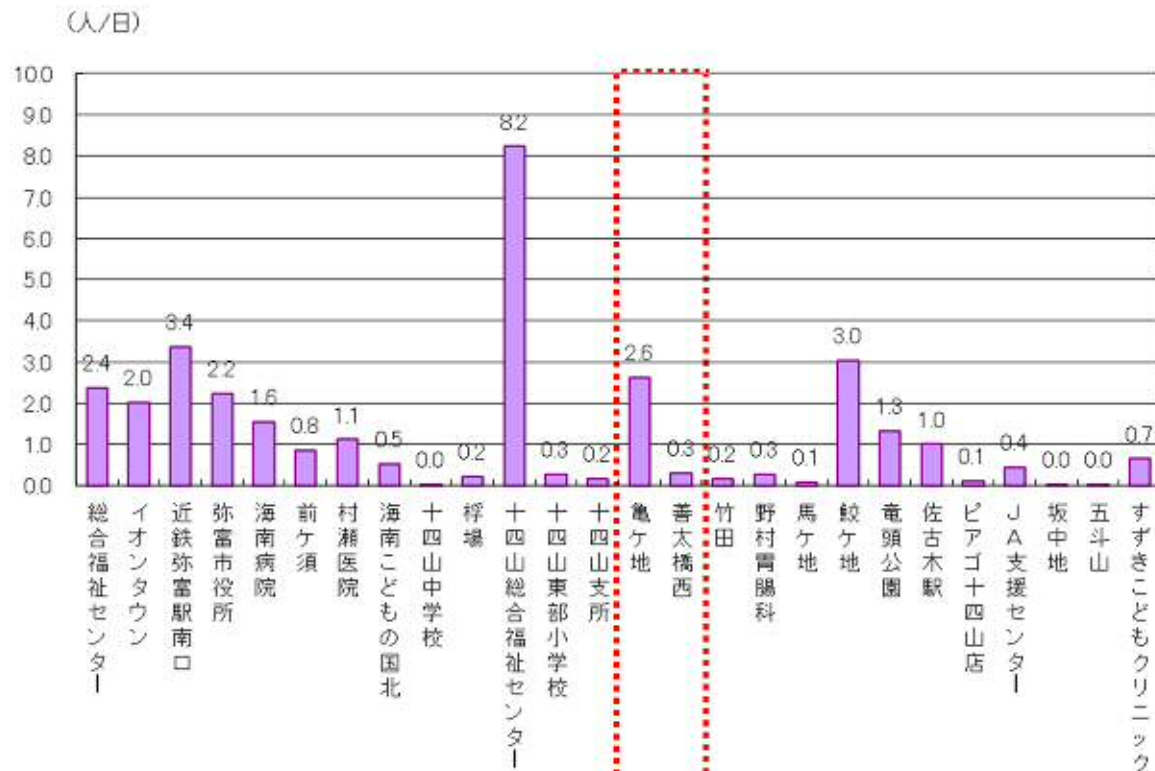
バス停別一日平均乗車人員 (南部ルート)



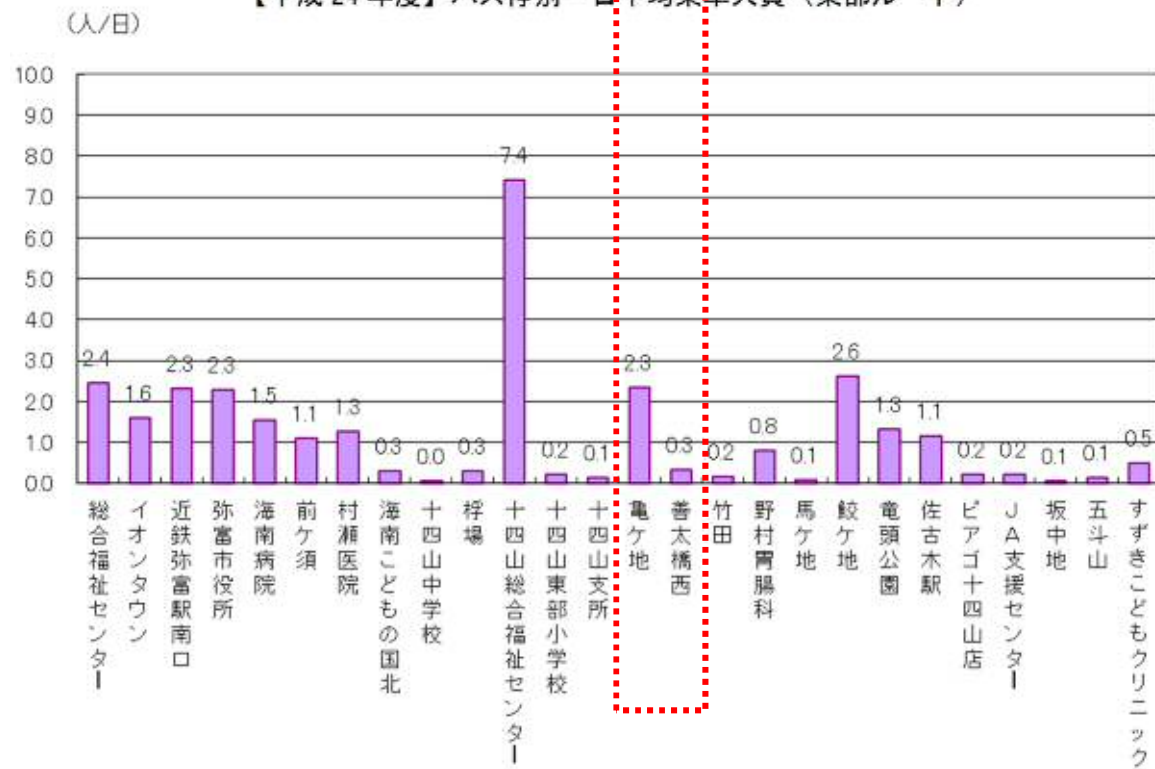
③東部ルート

- 「十四山総合福祉センター」「近鉄弥富駅南口」「鮫ヶ地」の利用者が多い。
- 飛島公共交通バス蟹江線との乗継バス停となっているバス停では、平成24年度と比較し、「亀ヶ地」で多少増加しているものの、「善太橋西」では変化が見られない。

バス停別一日平均乗車人員（東部ルート）



【平成24年度】バス停別一日平均乗車人員（東部ルート）



(3) ルート別便別の一日平均乗車人員

※集計期間

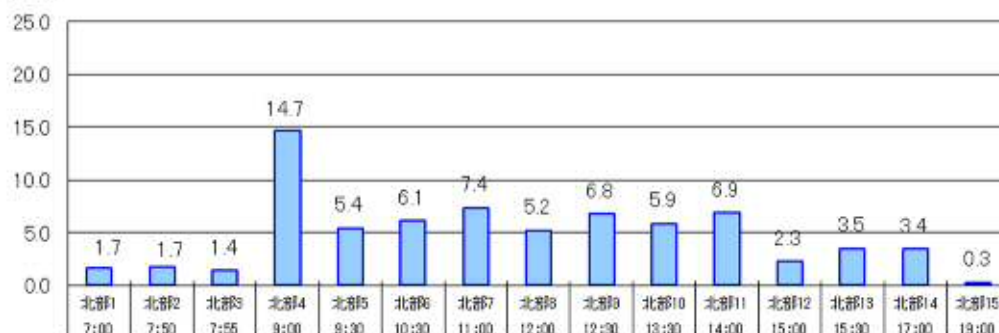
	期 間	平日	土曜日	計
平成 24 年度	H24.4.1～H25.3.31	246 日	48 日	294 日
平成 25 年度（ダイヤ改正前）	H25.4.1～H25.9.30	124 日	25 日	149 日
平成 25 年度（ダイヤ改正後）	H25.10.1～H25.12.31	63 日	12 日	75 日

① 北部ルート【平日】

- ダイヤ改正前後とも 9:00 発の便の利用者が多くなっている。
- ダイヤ改正前と比較し、ダイヤ改正後は、多くの便で利用者が増加している。

《H24》

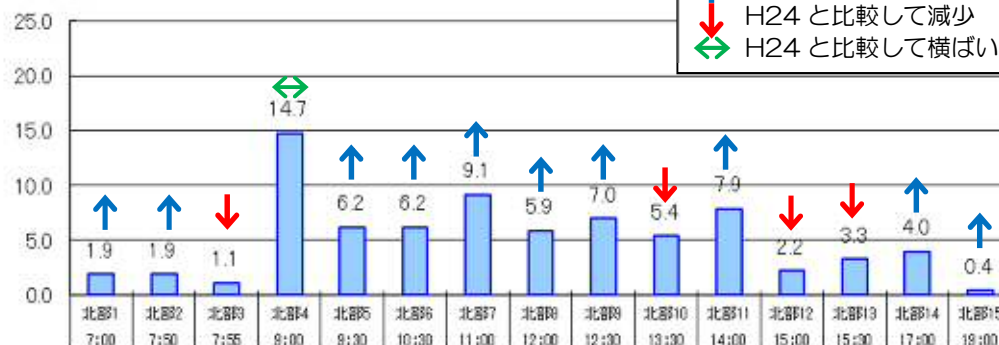
(人/日)



※左回り：2、4、6、8、10、11 便

《H25：改正前》

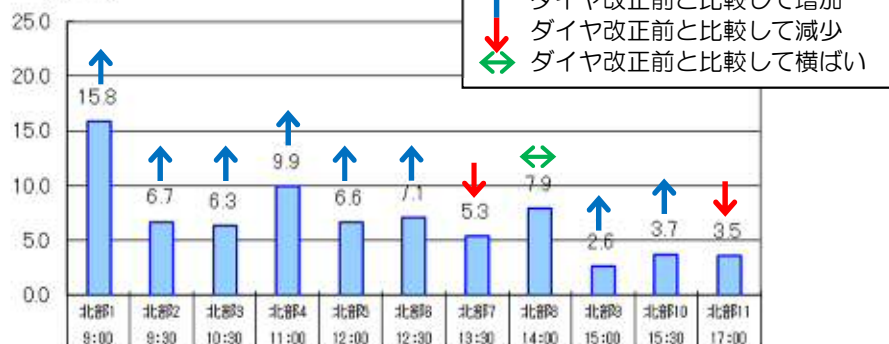
(人/日)



※左回り：2、4、6、8、10、11 便

《H25：改正後》

(人/日)



※左回り：2、4、6、8、10、11 便

② 北部ルート【土曜日】

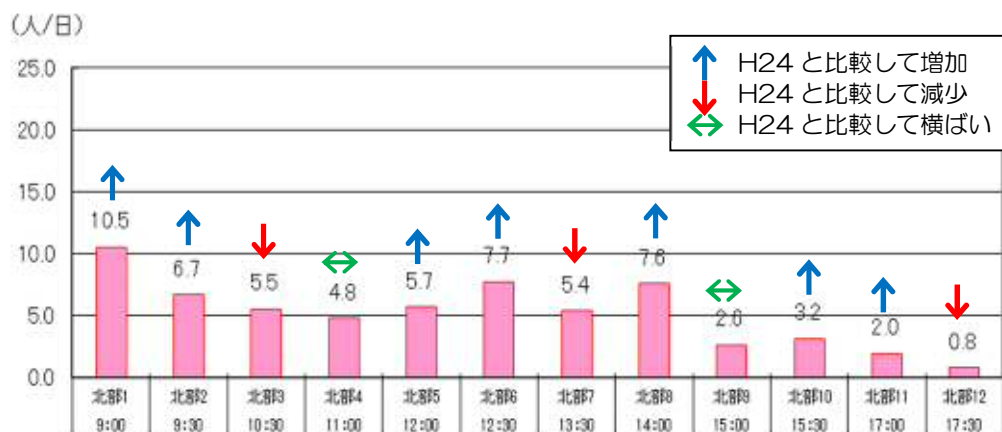
- ダイヤ改正前後とも 9:00 発の便の利用者が多くなっている。
- ダイヤ改正前と比較し、ダイヤ改正後は、多くの便で利用者が増加している。

《H24》



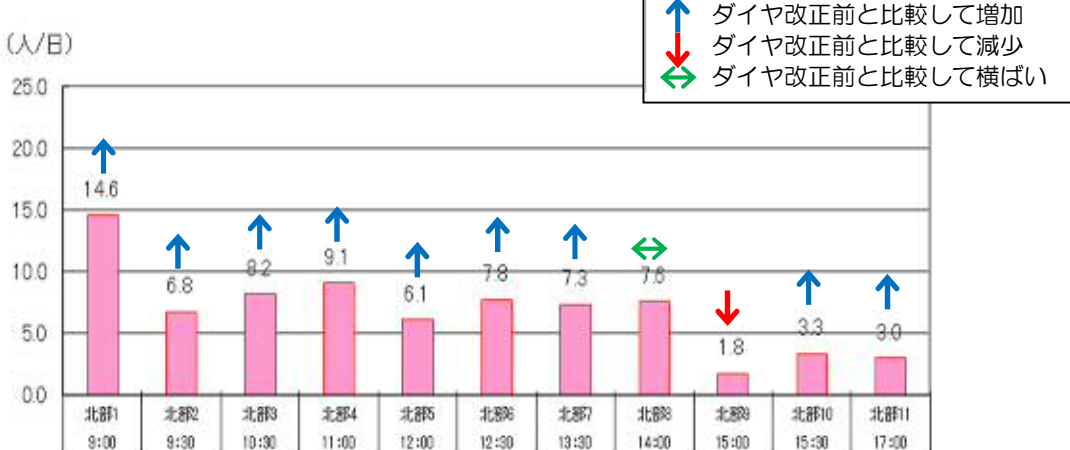
※左回り：2、4、6、8、10、11 便

《H25：改正前》



※左回り：2、4、6、8、10、11 便

《H25：改正後》



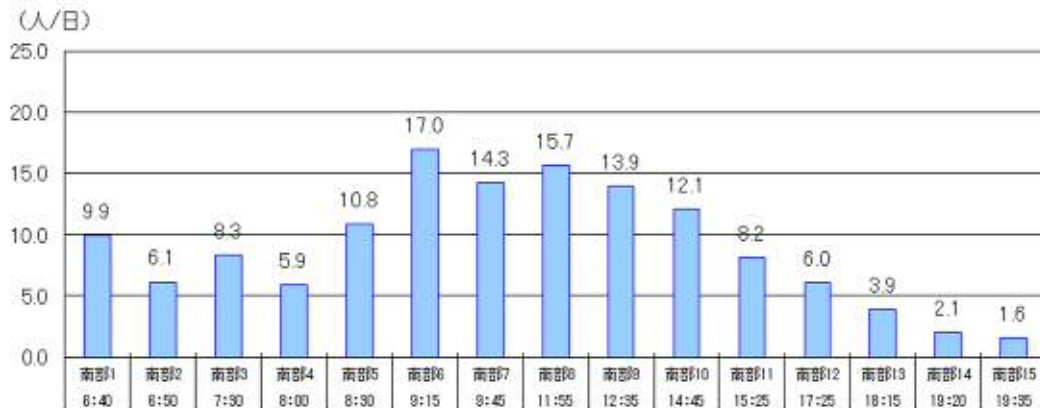
※左回り：2、4、6、8、10、11 便

③ 南部ルート【平日】

- ・ 夕方の便の利用者が少なくなっている。
- ・ ダイヤ改正前と比較し、ダイヤ改正後は、特に 6:40 発の便で利用者が増加しているが、利用者が減少している便も多い。

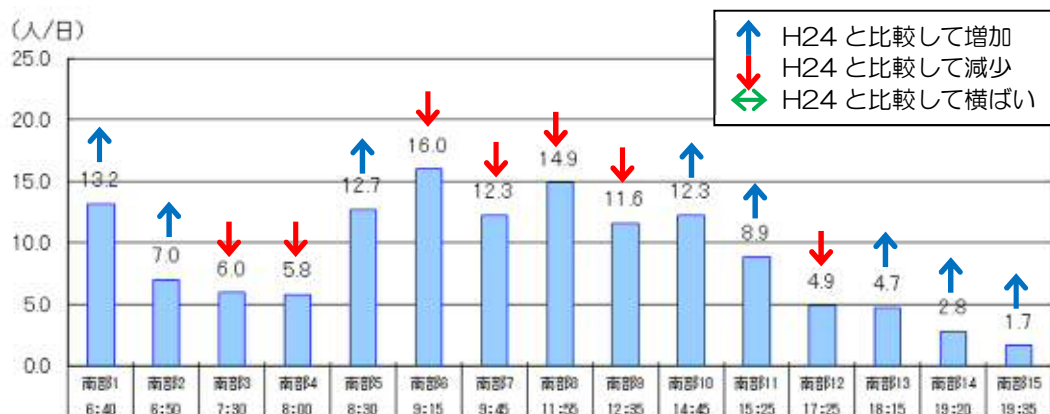
※南部ルートはダイヤ改正なし

《H24》



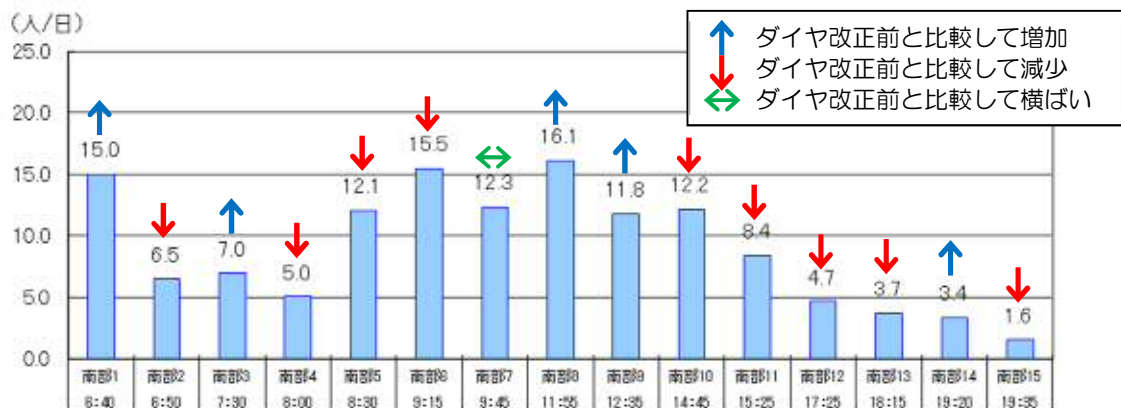
※左回り：1、5、7、9、11、13、15 便

《H25：改正前》



※左回り：1、5、7、9、11、13、15 便

《H25：改正後》



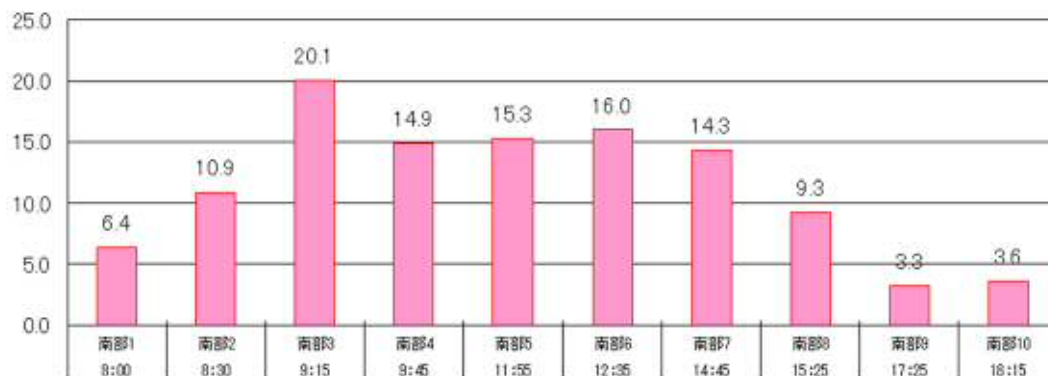
※左回り：1、5、7、9、11、13、15 便

④ 南部ルート【土曜日】

- ・ 8：00 発の便と夕方の便の利用者が少なくなっている。
- ・ ダイヤ改正前と比較し、ダイヤ改正後は、特に 8：30 発と 11：55 発の便で利用者が増加しているが、利用者が減少している便も多い。

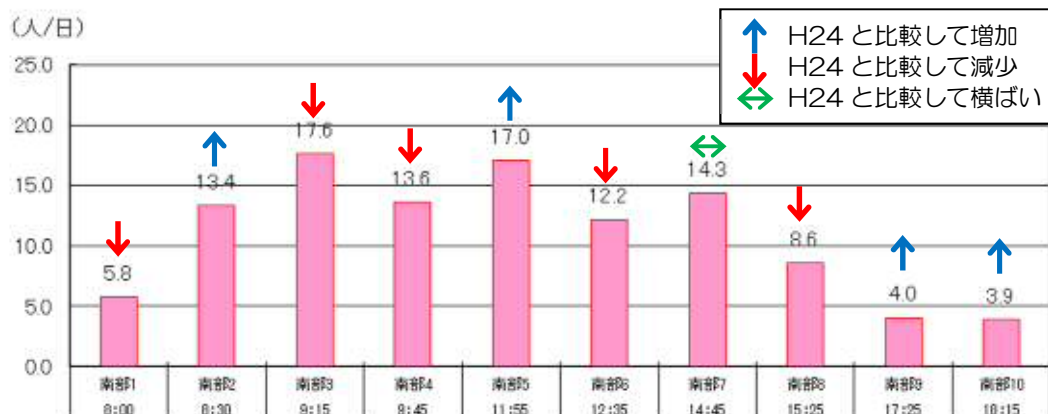
※南部ルートはダイヤ改正なし

《H24》
(人/日)



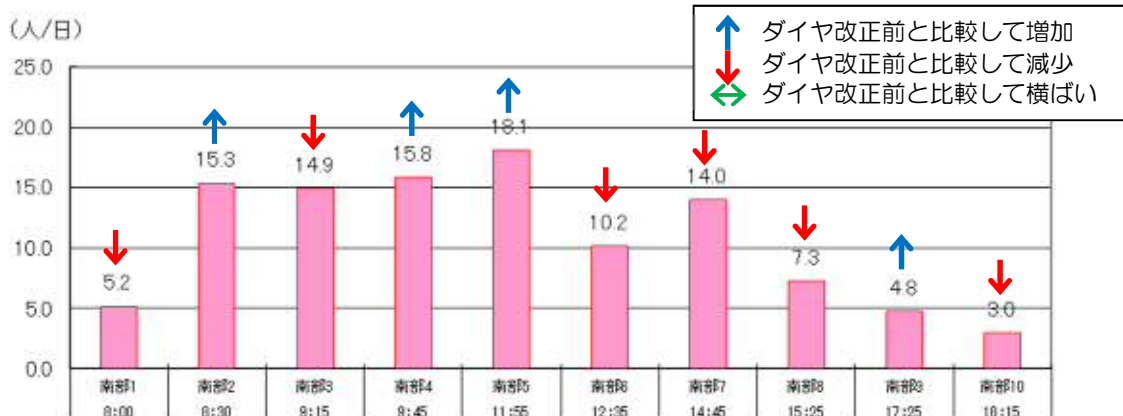
※左回り：偶数便

《H25：改正前》



※左回り：偶数便

《H25：改正後》

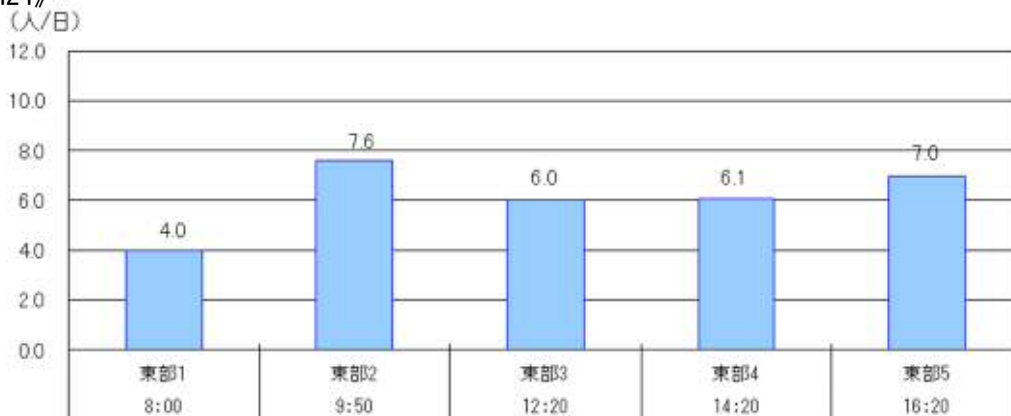


※左回り：偶数便

⑤ 東部ルート【平日】

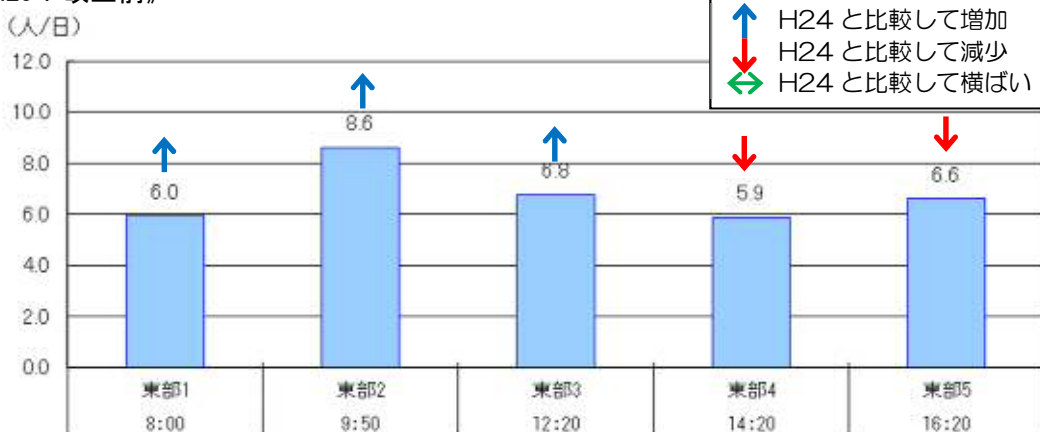
- ・ 7:45 発の便の利用者が少なくなっている。
- ・ ダイヤ改正前と比較し、ダイヤ改正後は、午前中の便で利用者が減少し、午後の便で利用者が増加している。

《H24》



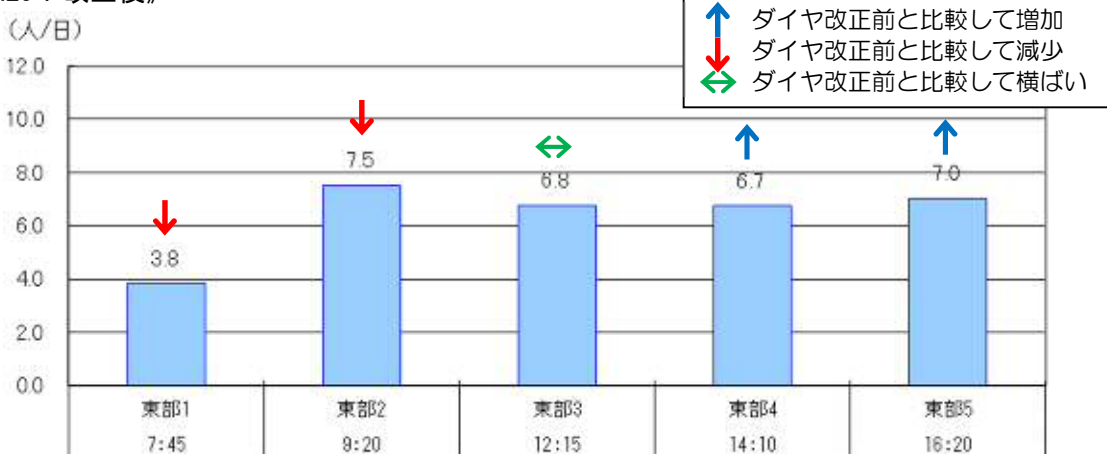
※左回り：3、5 便

《H25：改正前》



※左回り：3、5 便

《H25：改正後》

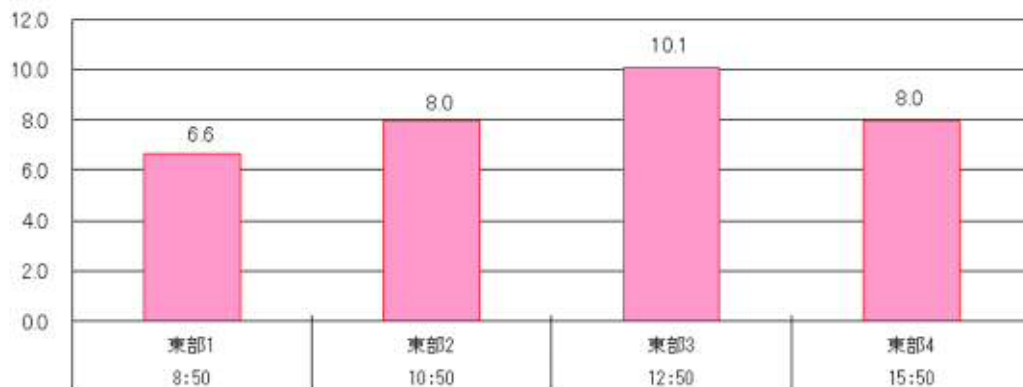


※左回り：3、5 便

⑥ 東部ルート【土曜日】

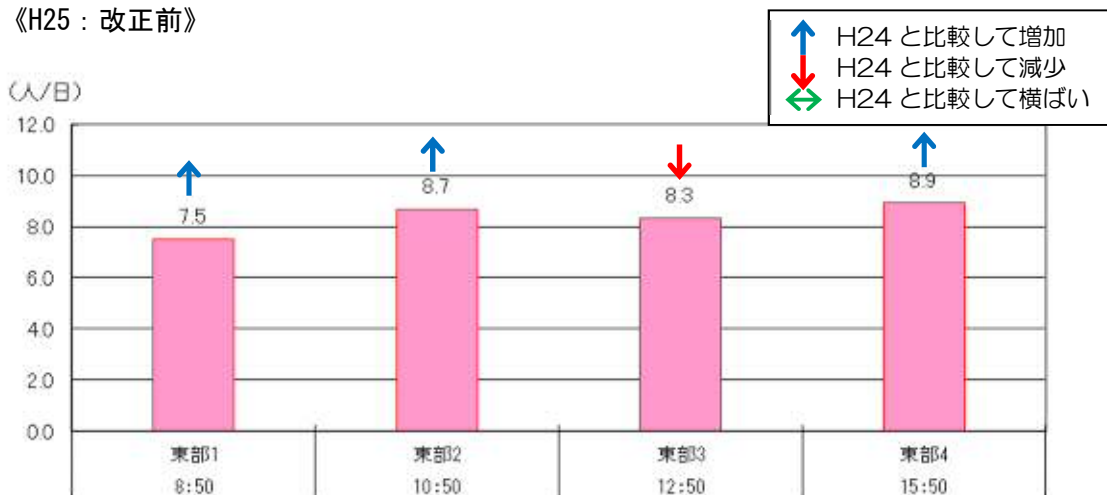
- 全体的に平日よりも利用者が多くなっている。
- ダイヤ改正前と比較し、ダイヤ改正後は、8：50 発の便を除き利用者が減少している。

《H24》
(人/日)



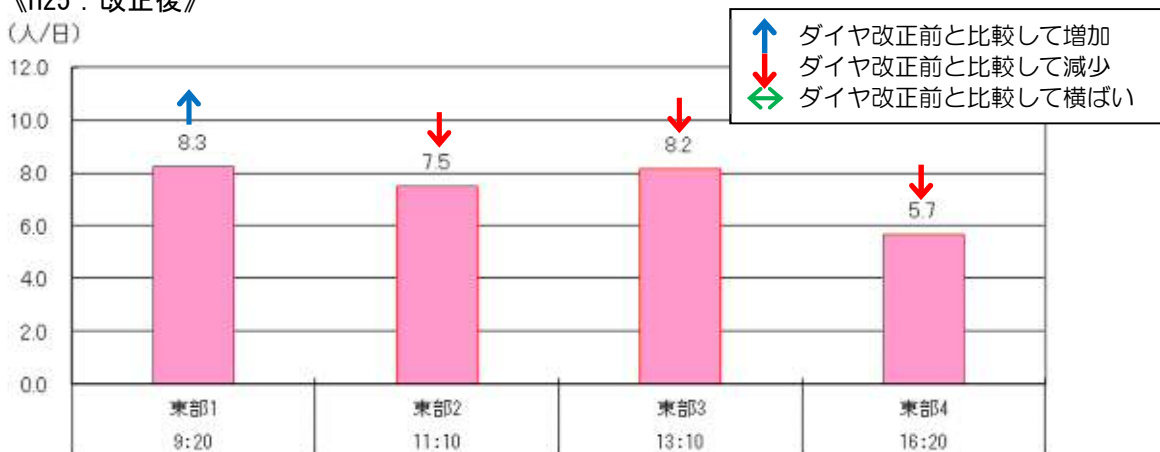
※左回り：偶数便

《H25：改正前》



※左回り：偶数便

《H25：改正後》



※左回り：偶数便

(2) 回収結果

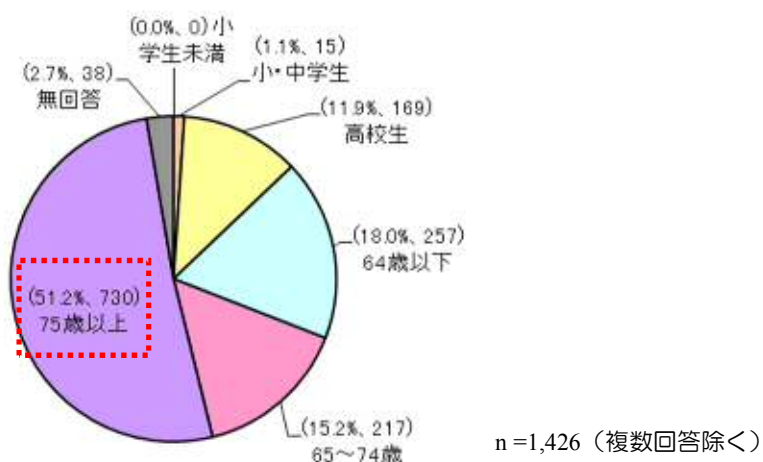
- 調査期間中の乗車実績に対する、調査票の回収数は下表の通りである。

バス停乗降者数調査回収結果

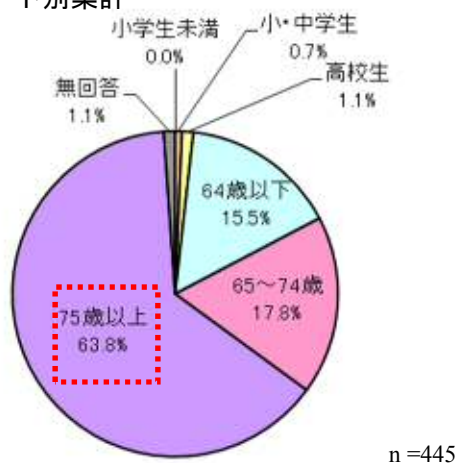
	乗車実績 (人)	回収枚数	回収率
北部ルート	455	445	97.8%
南部ルート	810	796	98.3%
東部ルート	188	188	100.0%
計	1,453	1,429	98.3%

(3) 利用者属性

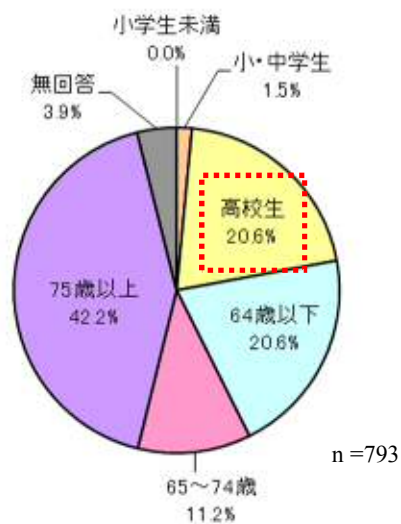
- 利用者の約半分は 75 歳以上である。
- ルート別にみると、75 歳以上の割合は北部ルート、東部ルートで多い。
- 高校生の利用はほとんどが南部ルートである。



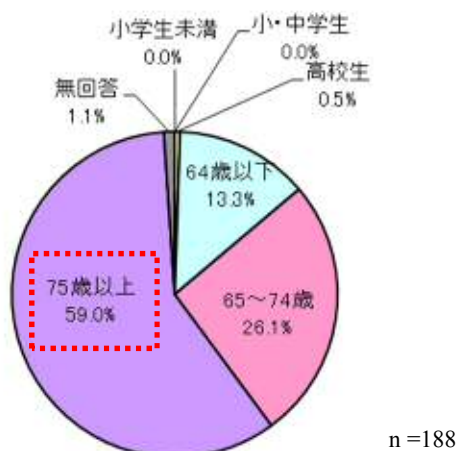
◆ルート別集計



北部ルート



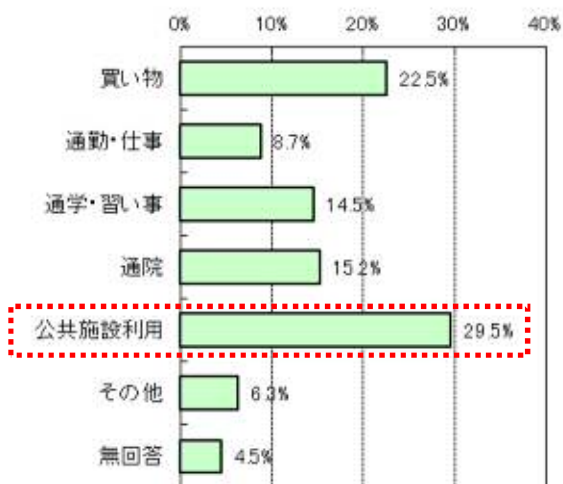
南部ルート



東部ルート

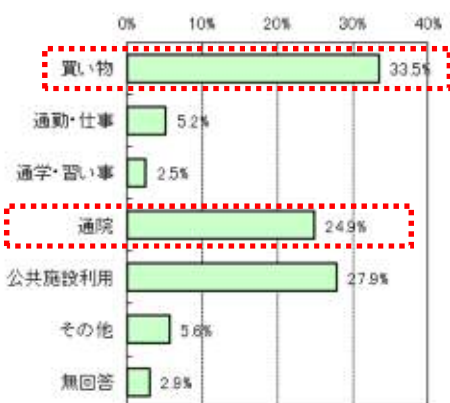
(4) 利用目的

- 利用目的は、「公共施設利用」が最も多い。
- ルート別にみても、「公共施設利用」が多くなっているが、北部ルートでは「買い物」「通院」、南部ルートでは「通学・習い事」も多くなっている。



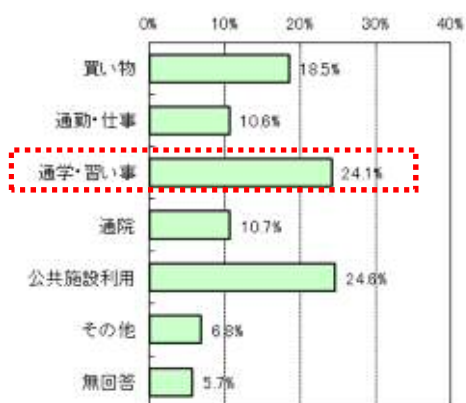
n=1,429（複数回答あり）

◆ルート別集計



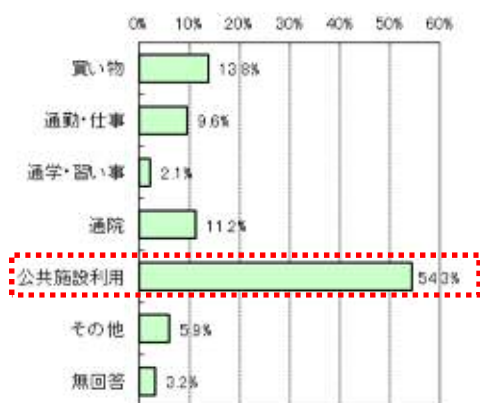
北部ルート

n=445



南部ルート

n=796



東部ルート

n=188

(5) 乗り換えの状況

- 最も多く乗り換えが行われているのは北部ルートと南部ルートの間である。
- 木曽岬町自主運行バスとの乗り換えは1件のみで、飛島公共交通バスとの乗換えはない。

乗り換えの状況 (人/週)

	乗り換え先					計
	北部ルート	南部ルート	東部ルート	木曽岬 自主運行 バス	飛島公共 交通バス	
北部ルート		11	1			12
南部ルート	9					9
東部ルート	1					1
木曽岬 自主運行バス			1			1
飛島公共 交通バス						0
計	10	11	1	0	0	23

【参考】乗継券発券状況 (枚/日)

ルート	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度 (～H25.12)	H25 年度 (H25.4～10)	H25 年度 (H25.10～12)
北部	1.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4
東部	0.4	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2
南部	1.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
計	2.8	0.5	0.4	0.6	0.6	0.8

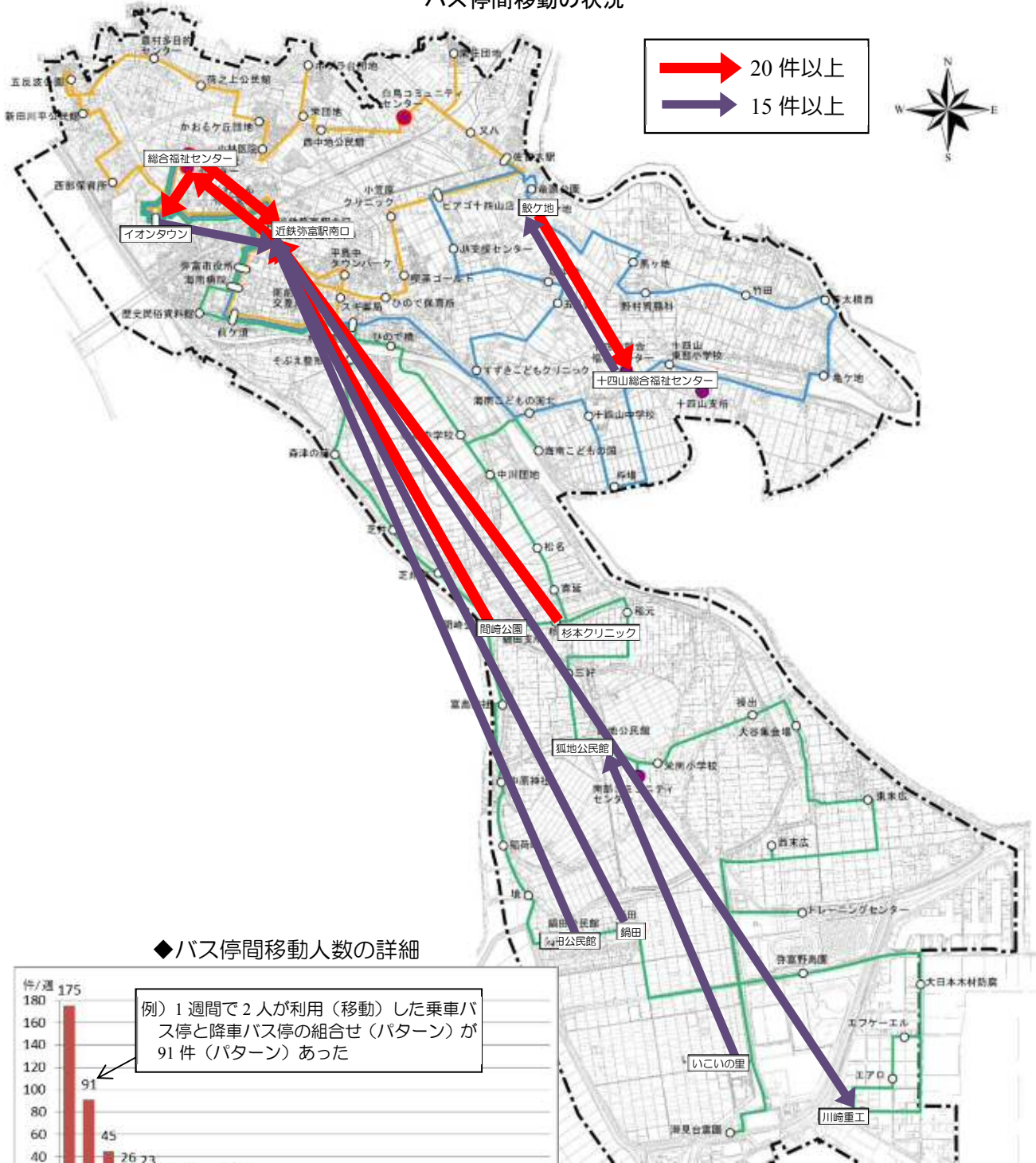
※平成 23 年度以降、全ルート総合福祉センターおよびイオンタウンへ乗り入れ

※四捨五入により端数が合わないことがある

(6) バス停間移動の状況

- 最も移動件数が多いのは、「近鉄弥富駅南口」から「総合福祉センター」への移動で 25 件となっている。
- 「近鉄弥富駅南口」との移動が多くなっており、「総合福祉センター」や「十四山総合福祉センター」、「イオンタウン」との移動も多くなっている。
- 調査期間 1 週間で、1 人しか移動していないパターンが 175 件と最も多くなっている。

バス停間移動の状況



◆バス停間移動人数の詳細

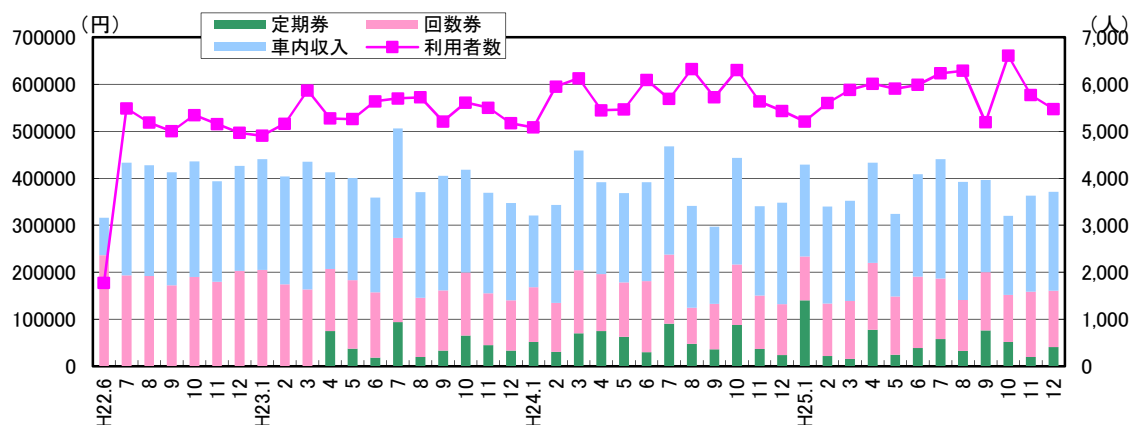


1-2-4 収入及び運行経費

(1) 収入

- 収入の推移は、平成 22 年度はほぼ横ばい傾向となっているが、定期券の販売が開始された平成 23 年度以降は、定期券の販売量に応じて増減しており、全体的には減少傾向となっている。
- 年度別収入の内訳の割合は、車内収入が 5～6 割程度で各年度ともほぼ一定となっている。

月別収入の推移（広告収入を除く）



年度別収入（単位：円）

		H22 年度 (6月～)		H23 年度		H24 年度		H25 年度 (～12月)	
車内収入		2,217,099	53.7%	2,832,965	56.9%	2,668,631	55.7%	2,045,375	55.9%
回数券	車内	1,780,000	43.2%	1,365,000	27.4%	1,244,000	26.0%	989,000	27.0%
	市役所販売	128,000	3.1%	190,000	3.8%	144,000	3.0%	150,000	4.1%
	計	1,908,000	46.3%	1,555,000	31.2%	1,388,000	29.0%	1,139,000	31.1%
定期券	大人	—	—	78,500	1.6%	197,900	4.1%	91,400	2.5%
	高校生以下・障がい者	—	—	40,400	0.8%	80,700	1.7%	32,600	0.9%
	シルバーパス	—	—	454,300	9.1%	387,600	8.1%	292,800	8.0%
	払戻し手数料	—	—	—	—	1,000	0.0%	1,000	0.0%
	計	—	—	573,200	11.5%	667,200	13.9%	417,800	11.4%
広告		—	—	16,128	0.3%	68,712	1.4%	57,834	1.6%
収入計		4,125,099	100.0%	4,977,293	100.0%	4,792,543	100.0%	3,660,009	100.0%
利用者数（人）		48,845	—	66,242	—	68,798	—	53,473	—

年度別月平均収入（単位：円）

		H22 年度 (6月～)		H23 年度		H24 年度		H25 年度 (～12月)	
車内収入		237,631	53.7%	236,080	56.9%	222,386	55.7%	227,264	55.9%
回数券	車内	190,782	43.2%	113,750	27.4%	103,667	26.0%	109,889	27.0%
	市役所販売	13,719	3.1%	15,833	3.8%	12,000	3.0%	16,667	4.1%
	計	204,501	46.3%	129,583	31.2%	115,667	29.0%	126,556	31.1%
定期券	大人	—	—	6,542	1.6%	16,492	4.1%	10,156	2.5%
	高校生以下・障がい者	—	—	3,367	0.8%	6,725	1.7%	3,622	0.9%
	シルバーパス	—	—	37,858	9.1%	32,300	8.1%	32,533	8.0%
	払戻し手数料	—	—	—	—	83	0.0%	111	0.0%
	計	—	—	47,767	11.5%	55,517	13.9%	46,311	11.4%
広告		—	—	1,344	0.3%	5,726	1.4%	6,426	1.6%
収入計		442,132	100.0%	414,774	100.0%	399,296	100.0%	406,557	100.0%
利用者数（人）		4,885	—	5,520	—	5,733	—	5,941	—

(2) 運行経費

- 運行経費は減少傾向となっており、平成 22 年度に比べ平成 25 年度の月平均運行経費は約 6 割まで減少している。

年度別運行経費（単位：円）

	H22 年度 (6 月～)	H23 年度	H24 年度	H25 年度 (～12 月)
運行経費	123,197,400	134,060,150	99,659,150	73,637,450
月平均運行経費	13,204,437	11,171,679	8,304,929	8,181,939
月平均運行経費の H22 年度に対する割合	100.0%	84.6%	62.9%	62.0%

※平成 22 年度の月平均運行経費は、6 月 21 日からの運行開始のため、9.33 ヶ月で計算

(3) 収支

- 年度別収支は、収入が減少しているものの支出（運行経費）も減少しているため、収支率は改善傾向となっている。

年度別収支（単位：円）

	H22 年度 (6 月～)	H23 年度	H24 年度	H25 年度 (～12 月)
収入	4,125,099	4,977,293	4,792,543	3,660,009
支出（運行経費）	123,197,400	134,060,150	99,659,150	73,637,450
収支（収入-支出）	-119,072,301	-129,082,857	-94,866,607	-69,977,441
収支率	3.3%	3.7%	4.8%	5.0%

1-2-5 周知・利用促進策

(1) 無料パスカード

- 75 歳以上に配布される無料パスカードは、実証運行を開始した平成 22 年度に多くが発行され、平成 23 年度以降は新たに 75 歳以上となった方々に配布されており、これまでに 5,299 枚が発行されている。

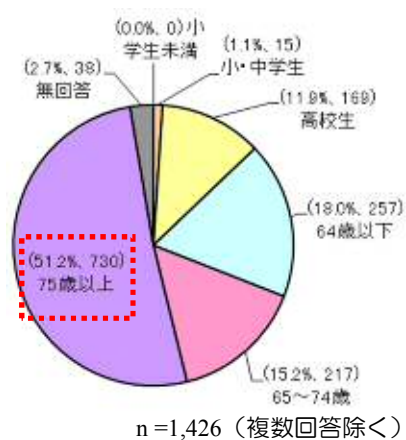
無料パスカード発行数

	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	計
発行枚数	3,960	460	440	439	5,299

無料パスカード



【参考】きんちゃんバス利用者属性
(バス停乗降者数調査結果)



(2) 定期券・回数券・シルバーパス

- 料金負担の軽減を図り、利用を促進するために、通勤・通学など利用頻度の多い方に対応した定期券や回数券、65 歳以上の方を対象としたシルバーパスを発行している。

回数券

券種	枚数	料金等
大人	12枚	2,000円
高校生以下・障がい者	12枚	1,000円

定期券

1) 定期乗車券

券種	期間	料金等
大人	1ヶ月	6,000円
	3ヶ月	17,100円
	6ヶ月	32,400円
高校生以下・障がい者	1ヶ月	3,000円
	3ヶ月	8,600円
	6ヶ月	16,200円

2) シルバーパス (65歳以上)

券種	期間	料金等
シルバーパス	1ヶ月	3,000円
	3ヶ月	8,600円
	6ヶ月	16,200円

(3) サイクル&バスライド駐輪場

- バス利用者の利便性の向上と新たな需要の掘り起こしを目的に、サイクル&バスライド駐輪場を市内の主要な公共施設 6 箇所に設置している。



サイクル&バスライド駐輪場

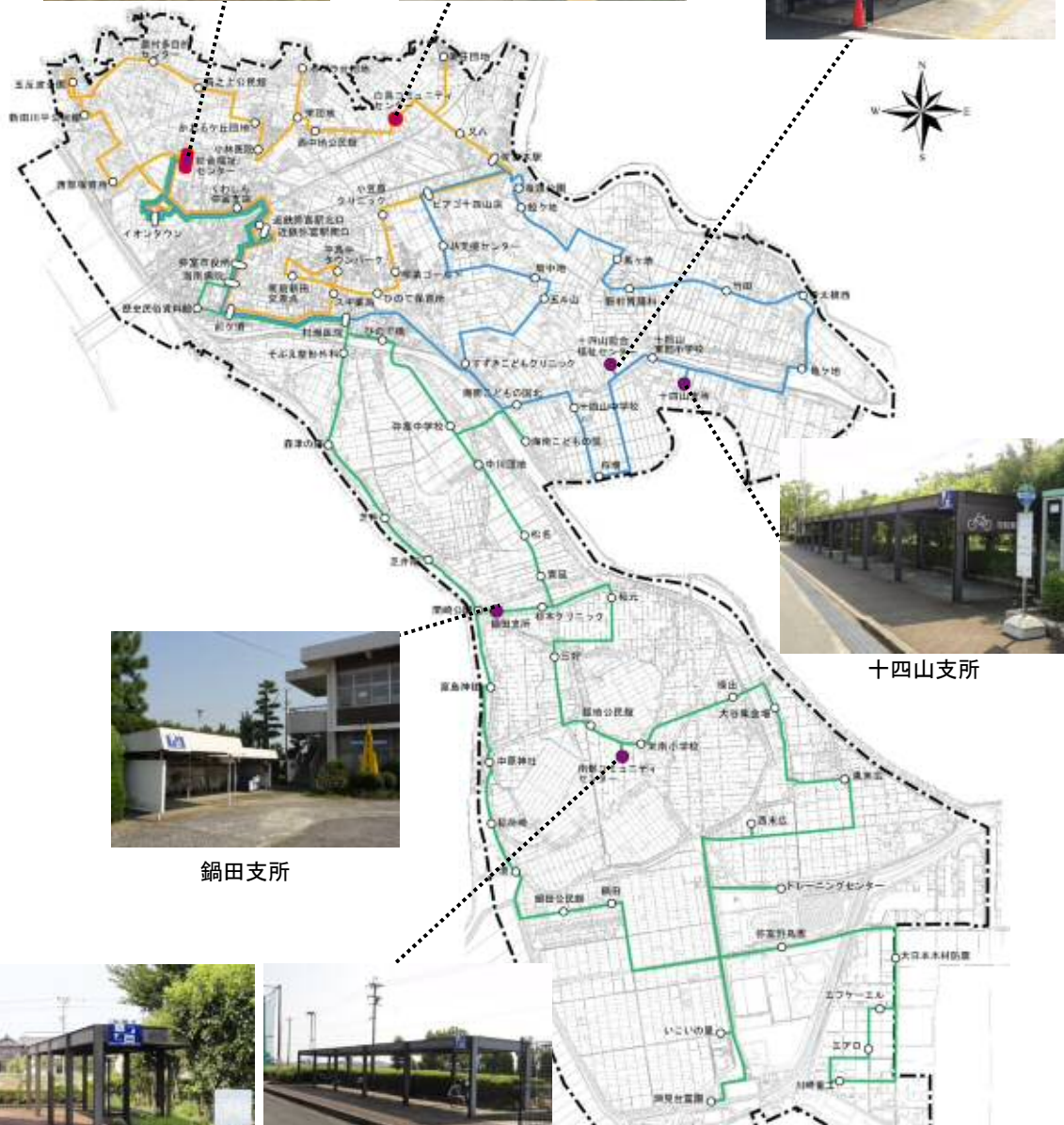
総合福祉センター



白鳥コミュニティセンター



十四山総合福祉センター



鍋田支所



十四山支所



南部コミュニティセンター



- ダイヤ改正の際には、新しい時刻表を全戸配布している。
- ダイヤ変更のポイントや、定期券や回数券、シルバーパスの販売情報、近鉄や飛島公共交通バス蟹江線への乗り継ぎダイヤなどを記載し、分かりやすく、利便性の高い時刻表を目指して作成している。

【路線図面】

① 固定のルート

○ 両月毎更新版を毎月更新し、両月毎が多岐の改正の便、改善の時期を決定します。

○ サイクルバスライド距離を250m単位とし、計り易くします。

- ルート計画 ① 各駅間距離
- 各駅間距離 ② 各駅間距離
- 各駅間距離 ③ 各駅間距離
- 各駅間距離 ④ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑤ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑥ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑦ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑧ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑨ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑩ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑪ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑫ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑬ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑭ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑮ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑯ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑰ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑱ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑲ 各駅間距離
- 各駅間距離 ⑳ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㉑ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㉒ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㉓ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㉔ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㉕ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㉖ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㉗ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㉘ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㉙ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㉚ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㉛ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㉜ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㉝ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㉞ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㉟ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㊱ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㊲ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㊳ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㊴ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㊵ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㊶ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㊷ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㊸ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㊹ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㊺ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㊻ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㊼ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㊽ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㊾ 各駅間距離
- 各駅間距離 ㊿ 各駅間距離

平成 25年10月1日 より

さんちゃんバスの
運行ダイヤ

が変わります。

サイクルバスライド距離を250m単位とし、計り易くします。

● 各駅間距離

● 各駅間距離

● 各駅間距離

● 各駅間距離

● 各駅間距離

● 各駅間距離

● 各駅間距離

● 各駅間距離

● 各駅間距離

月 日	月 日
10月1日	10月1日
10月2日	10月2日
10月3日	10月3日
10月4日	10月4日
10月5日	10月5日
10月6日	10月6日
10月7日	10月7日
10月8日	10月8日
10月9日	10月9日
10月10日	10月10日
10月11日	10月11日
10月12日	10月12日
10月13日	10月13日
10月14日	10月14日
10月15日	10月15日
10月16日	10月16日
10月17日	10月17日
10月18日	10月18日
10月19日	10月19日
10月20日	10月20日
10月21日	10月21日
10月22日	10月22日
10月23日	10月23日
10月24日	10月24日
10月25日	10月25日
10月26日	10月26日
10月27日	10月27日
10月28日	10月28日
10月29日	10月29日
10月30日	10月30日
10月31日	10月31日

月 日	月 日	月 日	月 日
10月1日	10月1日	10月1日	10月1日
10月2日	10月2日	10月2日	10月2日
10月3日	10月3日	10月3日	10月3日
10月4日	10月4日	10月4日	10月4日
10月5日	10月5日	10月5日	10月5日
10月6日	10月6日	10月6日	10月6日
10月7日	10月7日	10月7日	10月7日
10月8日	10月8日	10月8日	10月8日
10月9日	10月9日	10月9日	10月9日
10月10日	10月10日	10月10日	10月10日
10月11日	10月11日	10月11日	10月11日
10月12日	10月12日	10月12日	10月12日
10月13日	10月13日	10月13日	10月13日
10月14日	10月14日	10月14日	10月14日
10月15日	10月15日	10月15日	10月15日
10月16日	10月16日	10月16日	10月16日
10月17日	10月17日	10月17日	10月17日
10月18日	10月18日	10月18日	10月18日
10月19日	10月19日	10月19日	10月19日
10月20日	10月20日	10月20日	10月20日
10月21日	10月21日	10月21日	10月21日
10月22日	10月22日	10月22日	10月22日
10月23日	10月23日	10月23日	10月23日
10月24日	10月24日	10月24日	10月

[illegible]

(5) 無料お試し乗車券

① 無料お試し乗車券の概要

- 新たな利用者を掘り起こすことを主な目的とし、きんちゃんバスに乗ったことの無い人が、一度の利用経験を通じて、きんちゃんバスを持続的に利用するきっかけとなることを期待し、平成23年度以降、毎年無料お試し乗車券を全戸配布している。
- 無料お試し乗車券には、きんちゃんバスの必要性や回数券等の販売情報を記載するとともに、アンケートへの回答を条件として利用可能としている。

無料お試し乗車券（平成25年度配布時）

【おもて面】

【うら面】

大人	200円	定期券 (大人)	1ヶ月 6,000円
高校生以下	100円	3ヶ月 17,100円	
障がい者(手帳所持者)	100円	8ヶ月 32,400円	
障がい者(介護者)	100円	1ヶ月 3,000円	
75歳以上・未就学児	無料	3ヶ月 8,600円	
回数券(大人)	2,000円(12枚)	6ヶ月 16,200円	
回数券(高校生以下)	1,000円(12枚)	1ヶ月 3,000円	
回数券(障がい者)	1,000円(12枚)	3ヶ月 8,600円	
		6ヶ月 16,200円	

※無料お試し乗車券、アンケートについてのお問い合わせ先
 西条市地域公共交通活性化協議会事務局(西条市役所新築金庫)
 TEL: (0567) 65-1111 内線363 FAX: (0567) 67-4011

②平成 25 年度配布結果

1) 配布結果

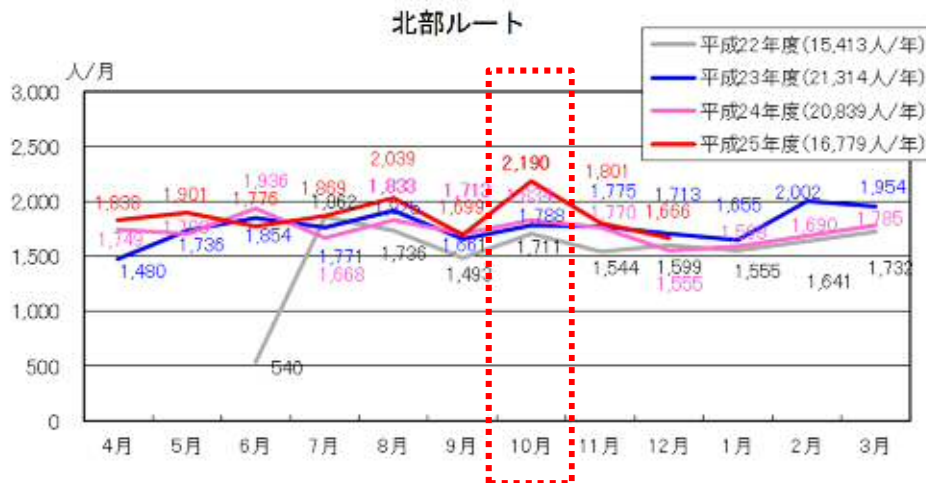
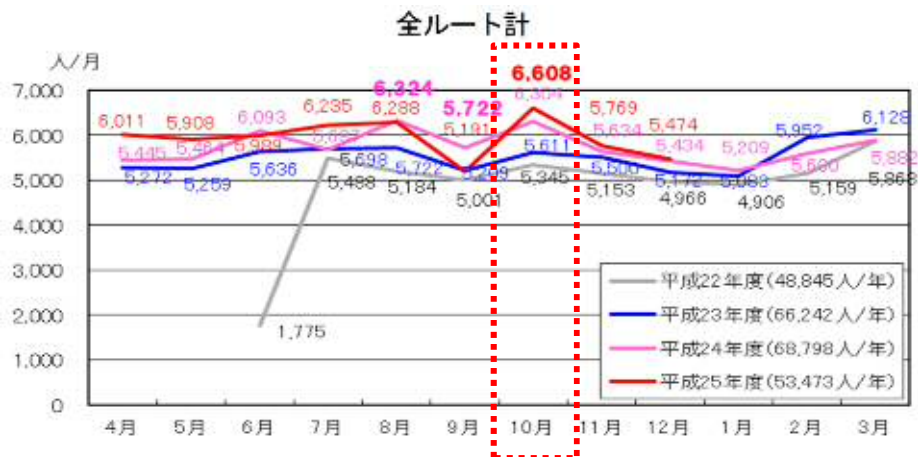
- 平成 25 年 10 月 1 日のダイヤ改正に合わせ、無料お試し乗車券を全戸配布した。

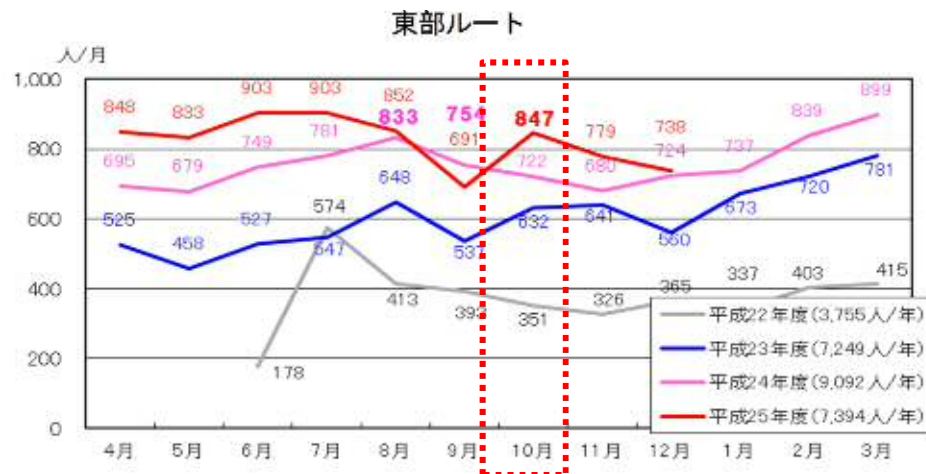
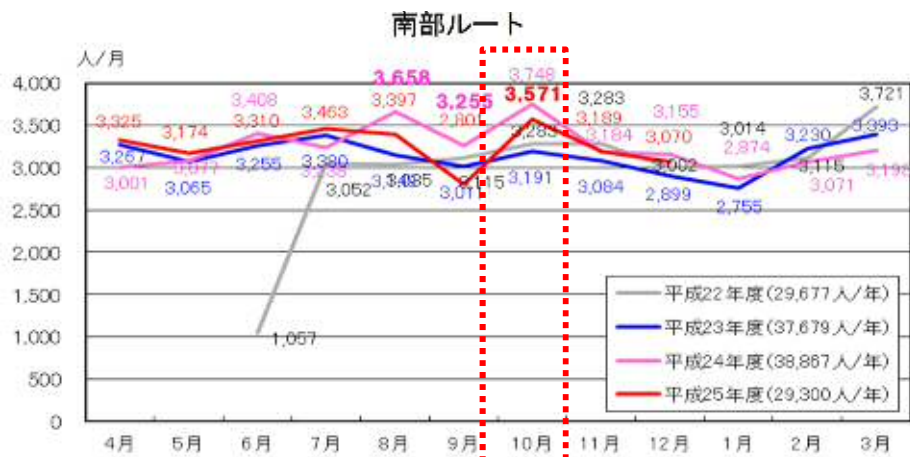
対象	弥富市内に居住する全世帯
利用可能期間	10/1（火）～10/30（木）
利用枚数	809 枚 - 北部ルート：271 枚 - 南部ルート：394 枚 - 東部ルート：144 枚

2) 無料お試し乗車券利用可能期間のきんちゃんバスの利用状況の推移

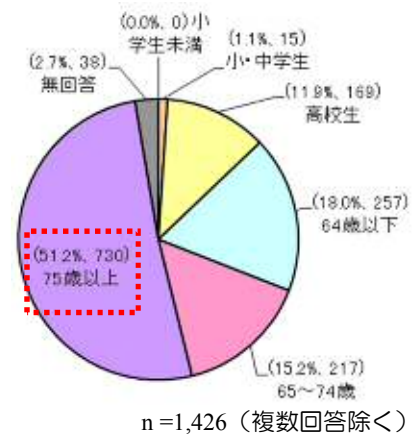
※昨年度無料お試し乗車券利用可能期間：7/30（月）～9/30（土）

- 全ルート計では、昨年度と比較し 10 月の利用者数が多くなっている。
- 北部ルートおよび東部ルートでも、昨年度と比較し 10 月の利用者数が多くなっている。
- 南部ルートでは、昨年度と比較し 10 月の利用者数は少ないものの、9 月から 10 月への増加数は多くなっている。（今年度：793 人増、昨年度：493 人）





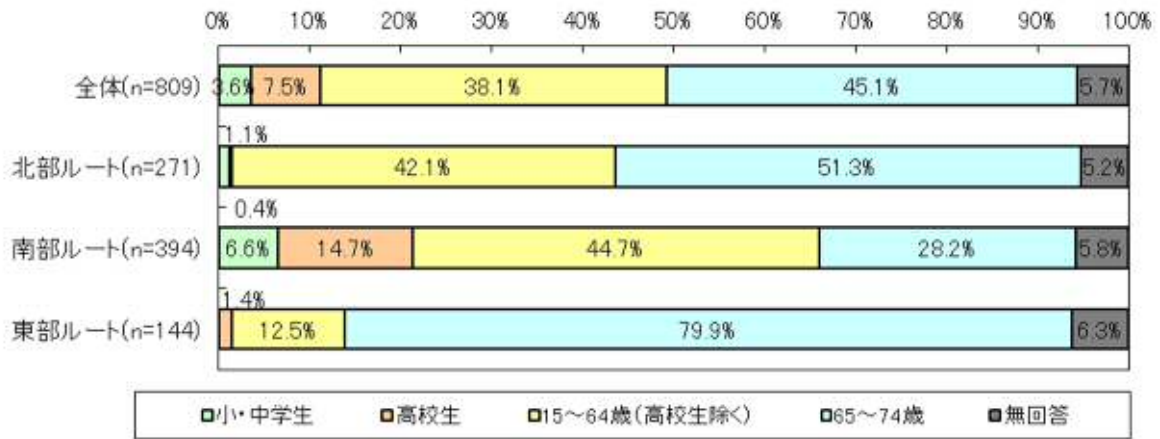
【参考】 きんちゃんバス利用者属性
(バス停乗降者数調査結果)



3) アンケート結果

ア) 年齢層

- 全体では「65～74 歳」が多く、特に東部ルートでその傾向が顕著である。



イ) 無料お試し乗車券の利用回数

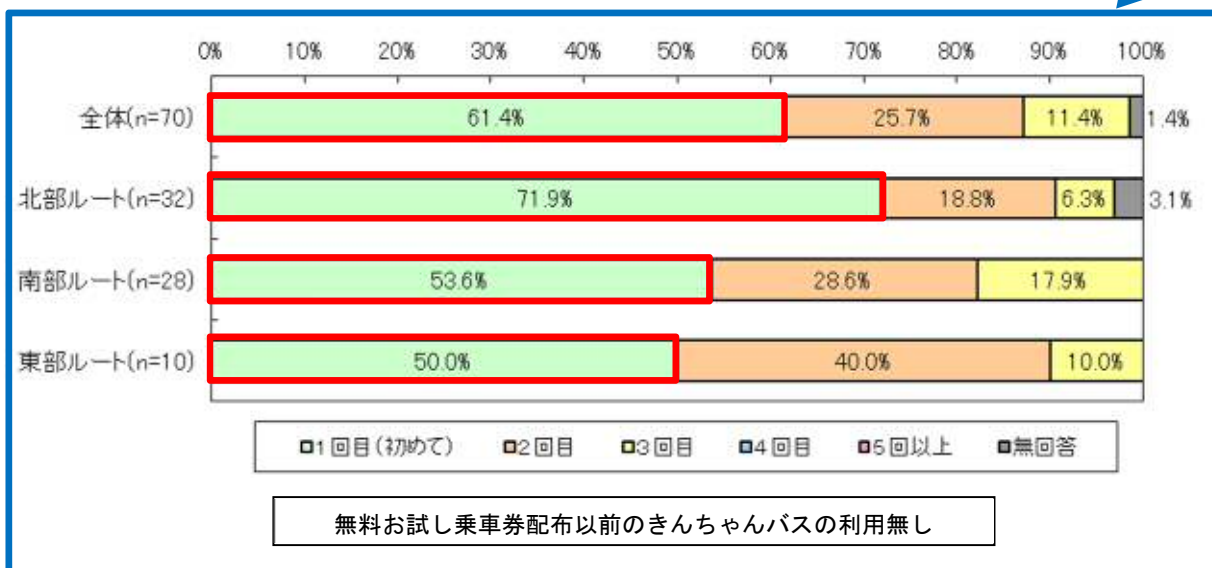
- 全体では「2 回目」が 31.5%と最も多くなっており、「1 回目（初めて）」は 30.3%となっている。
- 北部ルートでは「1 回目（初めて）」が 34.7%と最も多くなっている。



ウ) 無料お試し乗車券配布以前のきんちゃんバス利用の有無

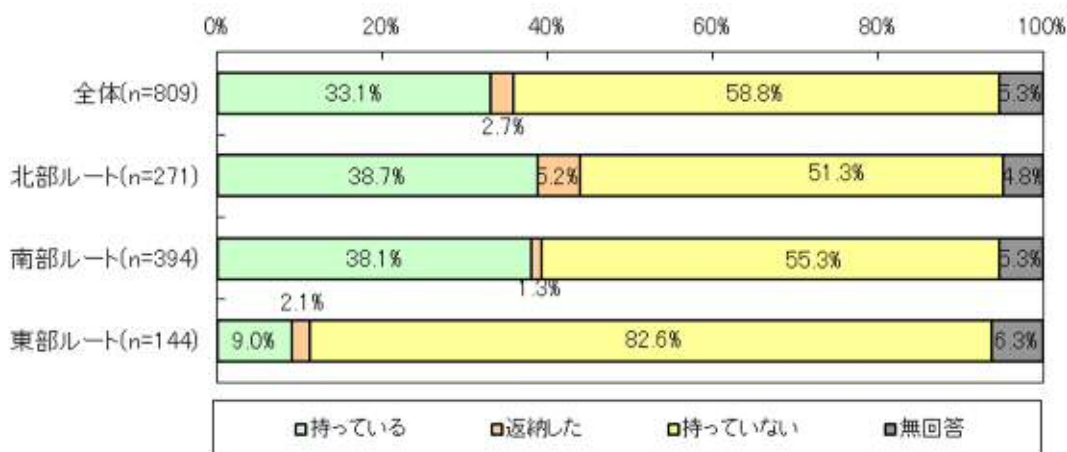
- 全体では「利用したことがない」が 8.7%となっており。北部ルートがその他のルートと比較して多くなっている。
- 今回の無料お試し乗車券により、初めてきんちゃんバスを利用した人（新規利用者）は、全体では 61.4%（43 名）となっており、特に北部ルートで多くなっている。

※新規利用者：無料お試し乗車券配布以前にきんちゃんバスを利用したことがなく、
お試し乗車券を初めて使った人



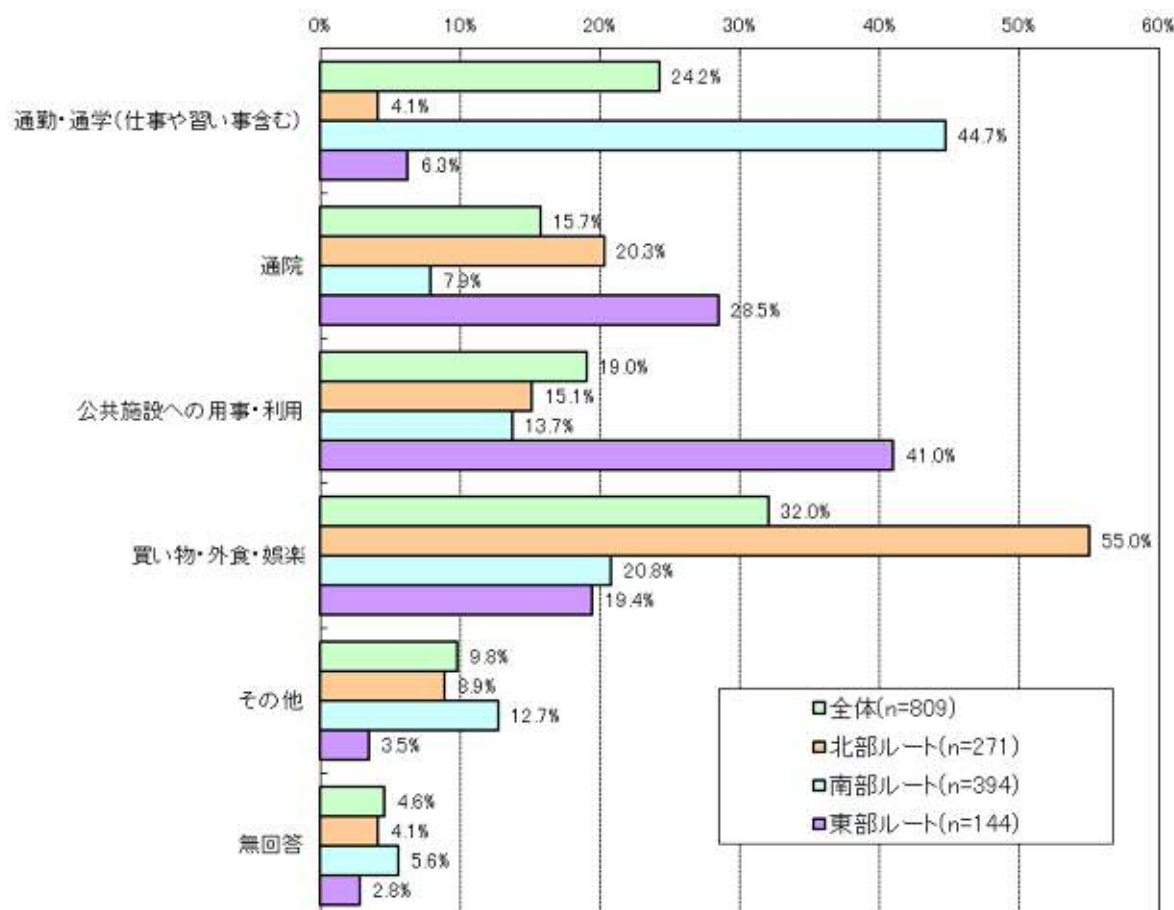
エ) クルマの運転免許の保有状況

- 全体では「免許を持っていない」が58.8%と半数以上を占めており、特に東部ルートで多くなっている。



オ) 利用目的

- 全体では「買い物・外食・娯楽」が32.0%と最も多くなっており、特に北部ルートで多くなっている。
- 南部ルートでは「通勤・通学」が、東部ルートでは「公共施設への用事・利用」が最も多くなっている。



1-2-6 その他公共交通との乗り換え

(1) 周辺自治体が運行するバスとの乗り換え

①周辺自治体のバス運行状況

弥富市周辺で運行されているコミュニティバスは、木曽岬町の自主運行バスと飛島村の飛島公共交通バスがある。木曽岬町自主運行バスは木曽岬町と近鉄弥富駅を結ぶ生活交通路線としての運行を目的としており、近鉄弥富駅との結びつきが強くなっている。一方、地域ニーズに対応した、利便性の高い公共交通サービスの提供を目的とした飛島公共交通バスは近鉄蟹江駅との結びつきが強くなっている。

きんちゃんバスおよび周辺自治体のバス運行状況

	運行時刻	運賃	弥富市内のバス停
きんちゃんバス（日曜・祝日及び年末年始は運休）			
北部ルート 平日：１日１１便 休日：１日１１便	平日始発：９時００分 平日終発：１７時００分 休日始発：９時００分 休日終発：１７時００分	大人 200 円 小学生から高校生 100 円 障がい者（手帳所持者）及び同伴の介護者 100 円 75 歳以上・未就学児無料	
南部ルート 平日：１日１５便 休日：１日１０便	平日始発：６時４０分 平日終発：１９時３５分 休日始発：８時００分 休日終発：１８時１５分		
東部ルート 平日：１日５便 休日：１日４便	平日始発：７時４５分 平日終発：１６時２０分 休日始発：９時２０分 休日終発：１６時２０分		
飛島公共交通バス			
蟹江線（毎日運行） 平日：１日４３便 休日：１日２８便	平日始発：６時７分 平日終発：２２時００分 休日始発：６時５７分 休日終発：２０時３５分	200 円 身体障害者 100 円	善太橋西 亀ヶ地 神戸新田
飛島コミュニティバス（日曜・祝日及び年末年始は運休） １日８便	始発：９時１０分 終発：１５時５５分	大人 200 円 小児 100 円（小学生）	なし ※弥富市内通過
木曽岬町自主運行バス（毎日運行）			
中央線 １日３２便	始発：６時１８分 終発：２０時２４分	一般 200 円 高校生以下 100 円	前ヶ須 海南病院前
源緑見入線 １日１４便	始発：７時０７分 終発：１９時５０分	65 歳以上及び障がい者 100 円 未就学児無料	弥富市役所 近鉄弥富駅

※飛島公共交通バス「名港線」及び「乗合タクシー（海南病院通院支援タクシー）」は除く。

- 現在のきんちゃんバスと周辺自治体のコミュニティバスにおいて接続を行っているのは、東部ルートの「善太橋西」及び「亀ヶ地」バス停であり、これは本市が飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会に要望を行い、飛島公共交通バス（蟹江線）に新たに加わったバス停である。
- 東部ルートから「善太橋西」バス停にて蟹江線に乗換えた場合、近鉄蟹江駅までは 11 分であり、名古屋駅方面への利便性が向上する。
- きんちゃんバスにおいては、平成 25 年 10 月 1 日に乗り継ぎ利便性を考慮したダイヤ改正を行っており、時刻表にも乗り換えダイヤを記載している。

[illegible]

飛島公共交通バス蟹江線
との乗り継ぎダイヤ
も分かります!!

東部ルート

平 日

近鉄鈴富駅着	名古屋方面から	12:15	16:15
乗り継ぎダイヤ	四日市方面から	12:12	16:30
近鉄佐古木駅着	名古屋方面から	12:56	17:01
乗り継ぎダイヤ	四日市方面から	13:09	17:03
飛島バス蟹江線	蟹江駅方面から	12:51	16:56
乗り継ぎダイヤ	(善太橋西)		

近鉄鈴富駅着	名古屋方面から	7:25	9:15	14:15
乗り継ぎダイヤ	四日市方面から	7:33	9:31	14:12
近鉄佐古木駅着	名古屋方面から	8:01	9:36	14:36
乗り継ぎダイヤ	四日市方面から	7:59	9:46	14:25
飛島バス蟹江線	蟹江駅方面から	8:11	9:49	14:51
乗り継ぎダイヤ	(善太橋西)			

左回り

停留所名	東部3	東部5
総合福祉センター	12:15	16:20
イオンタウン	12:20	16:25
近鉄鈴富駅南口	12:30	16:35
弥富市役所	12:33	16:38
海南病院	12:34	16:39
前ヶ須	12:35	16:40
村瀬医院	12:37	16:42

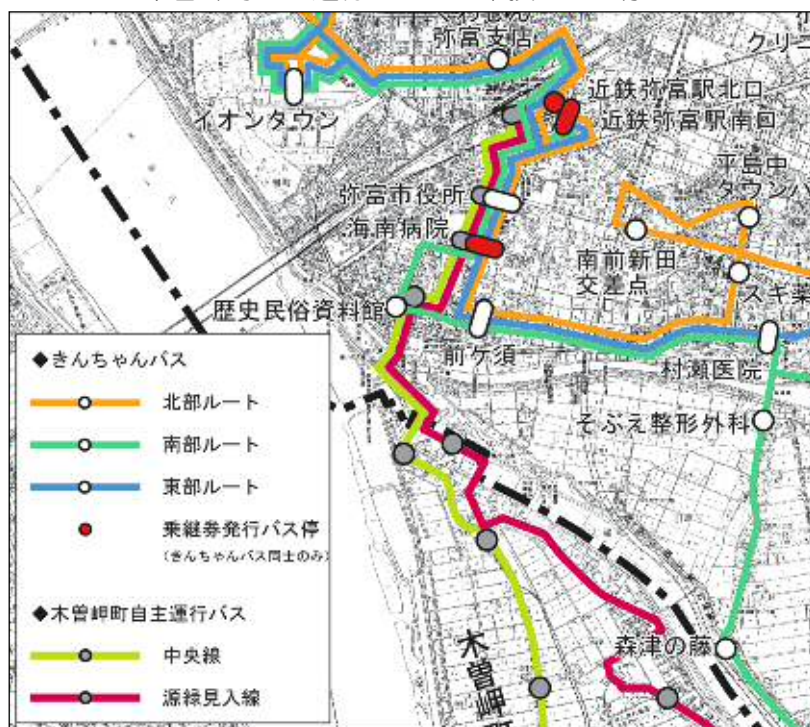
右回り

停留所名	東部1	東部2	東部4
総合福祉センター		9:20	14:10
イオンタウン		9:25	14:15
近鉄鈴富駅南口	7:45	9:35	14:25
弥富市役所	7:48	9:38	14:28
海南病院	7:49	9:39	14:29
前ヶ須	7:50	9:40	14:30
村瀬医院	7:53	9:43	14:33

③木曽岬町自主運行バスとの乗り換え

- きんちゃんバスと木曽岬町自主運行バスの乗換えは、「歴史民俗資料館」、「海南病院」、「弥富市役所」、「近鉄弥富駅南口」、「近鉄弥富駅北口」のいずれかで可能である。
- 現在、乗り換えを考慮したダイヤ編成等はされていない。

木曽岬町自主運行バスとの乗換えバス停



(2) 鉄道との乗り換え

- ・ 弥富市には、近鉄名古屋線の弥富駅および佐古木駅、JR 関西本線および名鉄尾西線の弥富駅、名鉄尾西線の五ノ三駅の4駅がある。
- ・ 現在のきんちゃんバスでは、利用者の多い近鉄名古屋線の弥富駅および佐古木駅のほか、近鉄名古屋線の弥富駅と近接している JR 関西本線の弥富駅への乗り換えが可能となっている。
- ・ きんちゃんバスのダイヤは、近鉄名古屋線の弥富駅および佐古木駅への乗り換えを考慮して編成されており、時刻表にも乗り換えダイヤを記載している。

時刻表への乗り換えダイヤ記載状況（一部抜粋）

時刻表

土曜日

近鉄弥富駅・佐古木駅の乗り継ぎダイヤもわかります!!

飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎダイヤもわかります!!

東部ルート

平日

左回り

停留所名	海部2	海部4	海部6	海部7
総合福祉センター	9:45	12:35	15:25	
イオンタウン	9:51	12:41	15:31	
近鉄弥富駅南口	10:02	12:52	15:42	18:15
弥富市役所	10:05	12:55	15:45	18:18
海部病院	10:06	12:56	15:46	18:19
歴史民俗資料館	10:08	12:58	15:48	18:21
駅ヶ原	10:09	12:59	15:49	18:22
杉原地区	10:11	13:01	15:51	18:24
そふろ整形外科	10:13	13:03	15:53	18:26
富津の湯	10:14	13:04	15:54	18:27
足井	10:16	13:06	15:56	18:29
足井南	10:17	13:07	15:57	18:30
陸前公園	10:18	13:08	15:58	18:31
緑田支所	10:19	13:09	15:59	18:32
杉本クリニック	10:20	13:10	16:00	18:33
稲元	10:21	13:11	16:01	18:34
三好	10:24	13:14	16:04	18:37
緑田公民館	10:28	13:18	16:08	18:41
南郷コミュニティセンター	10:30	13:20	16:10	
保南小学校	10:31	13:21	16:11	18:43
緑田	10:33	13:23	16:13	18:45
大谷集会所	10:35	13:25	16:15	18:47
東栄広	10:38	13:28	16:18	18:50
西栄広	10:40	13:30	16:20	18:52

右回り

停留所名	海部1	海部3	海部5	海部7
総合福祉センター	9:15	11:55	14:45	17:25
イオンタウン	9:21	12:01	14:51	17:31
近鉄弥富駅南口	9:32	12:12	15:02	17:42
弥富市役所	9:35	12:15	15:05	17:45
海部病院	9:36	12:16	15:06	17:46
歴史民俗資料館	9:38	12:18	15:08	17:48
駅ヶ原	9:39	12:19	15:09	17:49
杉原地区	9:41	12:21	15:11	17:51
ひので橋	9:43	12:23	15:13	17:53
富津中学校	9:45	12:25	15:15	17:55
海部こどもの国	9:47	12:27	15:17	
中川陸地	9:50	12:30	15:20	17:58
松名	9:51	12:31	15:21	17:57
真尾	9:52	12:32	15:22	17:58
杉本クリニック	9:53	12:33	15:23	17:59
緑田支所	9:54	12:34	15:24	18:00
陸前公園	9:55	12:35	15:25	18:01
富津神社	9:57	12:37	15:27	18:03
中郷神社	10:00	12:40	15:30	18:06
稲田	10:02	12:42	15:32	18:08
緑田	10:03	12:43	15:33	18:09
緑田公民館(東)	10:05	12:45	15:35	18:11
緑田公民館(西)	10:15	12:55	15:45	18:11

1-2-7 住民・利用者アンケート調査

(1) 調査概要

対象	・弥富市内に居住する 15 歳以上の住民 1,000 名※住民基本台帳より無作為抽出 ・きんちゃんバス利用者 213 名（1 週間の実配布数） ・その他 3 団体：区長会 34 名、福寿会 9 名、商工会 34 名
期間	12/1～12/18
回収数	603 名（回収率 46.7%）

なお、アンケート票の配布にあたっては、きんちゃんバスの利用促進および関連施策を周知するために、案内文の裏面や別途チラシを作成し、同封して配布した。

案内文（左：おもて面、右：うら面）

アンケート調査の表紙（おもて面）には、きんちゃんバスに関するアンケート調査のタイトル、実施期間（平成25年12月）、実施場所（弥富市）、そして「服部 彰夫」の署名が記されています。また、アンケートの目的や、回答の重要性、回答方法（郵便で返す）についても説明がなされています。

アンケート調査の裏面（うら面）には、「考えてみませんか？ バス・鉄道のよいところ。」というテーマで、「健康」「お財布にやさしい」「環境にやさしい」の3つの観点から、きんちゃんバスや鉄道のメリットが紹介されています。また、地域のみなさんの支えが必要であることも強調されています。

チラシ（左：おもて面、右：うら面）

お申込み回数券・定期券・シルバーパスを販売しています！という見出しの下、回数券や定期券、シルバーパスの概要が説明されています。また、販売場所や販売期間についても記載されています。

サイクル&バスライド駐輪場をご利用ください！という見出しの下、きんちゃんバスをご利用になる方であれば、市内の指定の駐輪場を無料でご利用になることが可能であることが説明されています。また、駐輪場の概要や利用方法についても記載されています。

アンケート票

I ご自身についてお尋ねします。

問1 下記について、それぞれ当てはまる番号に1つだけQをつけてください。

問1-1 性別	1. 男性	2. 女性
問1-2 年齢	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60～64歳 7. 65～74歳 8. 75歳以上	
問1-3 運転免許	1. 持っている 2. 返却した 3. 持っていない	
問1-4 職業	1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. パート・アルバイト 4. 学生 5. 専業主婦 6. 無職 7. その他()	
問1-5 お住まい	1. 須江小学校区 2. 桜・日の出小学校区 3. 白鷺小学校区 4. 大鷲小学校区 5. 栄南小学校区 6. 十四山地区	

II きんちゃんバスについてお尋ねします。

問2 きんちゃんバスを利用していますか。当てはまる番号全てにQをつけてください。

1. 北園ルートを利用している	問3へ	4. 利用していない
2. 南部ルートを利用している		問3へ
3. 東部ルートを利用している		

III きんちゃんバスを利用している方 IIII

問3 きんちゃんバスの利用頻度について、当てはまる番号に1つだけQをつけてください。

1. 週に5日以上	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日	4. 月に数回程度
-----------	-----------	-----------	-----------

問4 昨年と比べた場合のきんちゃんバスをご利用になれる頻度について、当てはまる番号に1つだけQをつけてください。また、利用頻度が変わった方は、その理由を簡潔書き添えてお書きください。

1. 非常に増えた	2. やや増えた	3. 変わらない
4. やや減った	5. 非常に減った	
利用頻度が増えた・減った理由		
・ ・		

問5 きんちゃんバスではおなじ「回数券」や「定期券」、「シルバーバス」を発行していますが利用されていますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 回数券を利用している	2. 定期券を利用している
3. シルバーバスを利用している	4. 無料で見乗できる（75歳以上）
5. いずれも利用していない（現金で利用している）	

問6 主な利用目的について、当てはまる番号全てに○をつけてください。

1. 買い物	2. 通勤・仕事	3. 通学・高い事	4. 通院
5. 公共施設への利用	6. 外食やスポーツなどの余暇		
7. 家族や友人等への訪問			
8. その他（ ）			

問7 現在のきんちゃんバスの満足度について、当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、その理由を簡潔書きでお書きください。

1. 非常に満足	2. やや満足	3. ふつう	4. やや不満	5. 非常に不満
理由				
・ ・				

問8 平成25年10月1日のダイヤ改正では、東部ルートの「臨太磯西」バス停において、飛島公共交通バス蟹江線の蟹江駅方面へとの乗り換えダイヤを改善しています。そのことについて、当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、便利・不便と感じている方（1、2、4、5のいずれが該当者）は、その理由を簡潔書きでお書きください。

1. 非常に便利になった	2. やや便利になった	3. 変わらない
4. やや不便になった	5. 非常に不便になった	
6. 東西ルートを利用しないのでわからない		
便利・不便になった理由		
・ ・		

問10へお進みください

！！！！ きんちゃんバスを利用していない方 !！！

問9 きんちゃんバスのどのような点が改善されたら利用したいと願いますか。当
てはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、「1. 以下の点が改善された
ら利用したい」については改善してほしい内容を箇条書きでお願いします。

1. 以下の点が改善されたら利用したい

(記載例) ・○○バス希望区画 ・東武ルートへの△徒歩台の受を○○△道路で渡る ・ ・ ・

2. 今はまだ利用しない (将来的に利用したい)

3. 改善の内容にわからず、今後も利用しない

！！！！ 以降については、みなさんお答えください !！！

問10 ご自宅の最寄りのきんちゃんバスのバス停までの概ねの距離について、当
てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 徒歩3分以内 (100m以内) 2. 徒歩3分5分以内 (100~300m)
 3. 徒歩3分10分以内 (300~500m) 4. 徒歩3分10分以上 (500m以上)
 5. バス停の位置を知らない

問11 最寄りのバス停までの主な移動手段について、当てはまる番号に1つだけ○
をつけてください。なお、きんちゃんバスを利用している方は現在の移動手段を、
利用していない方は利用する場合を想定してお答えください。

1. 徒 歩
 2. 自 転 車
 利用している、利用すると想定される軽車両にも○をつけてください。
 a. 白南コミュニティセンター b. 総合福祉センター
 c. 十四山総合福祉センター d. 十四山支所 e. 錦田支所
 f. 南郊コミュニティセンター g. その他 ()
 3. 家族など他の人に車で送迎してもらう
 4. その他 ()

3

Ⅳ 今後のきんちゃんバスについてお尋ねします。

問1② きんちゃんバスの運行を維持するために、多くの費用を市が負担しています。今後、より便利にしていきたいと考えていますが、市の費用負担のあり方についてどのように変わりますが、当てはまる番号に1つだけQをつけてください。

1. 便利にするためには、費用がかかってもちが悪い
2.今のままでよい 3. 不便になったとしても、費用は減らすべきだ
4. わからない

V ご意見・ご要望などありましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

※12月18日（水）までにご返送ください。

(2) 調査結果

①属性



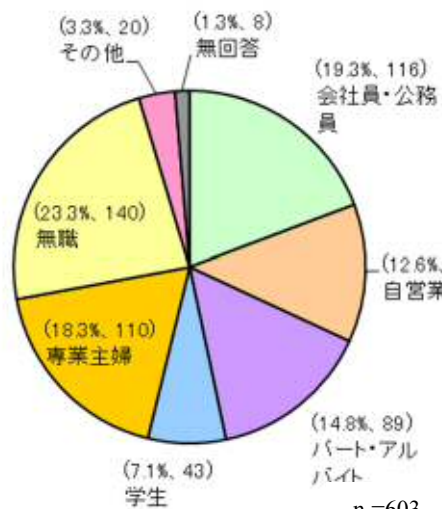
n = 603

性別



n = 603

年齢



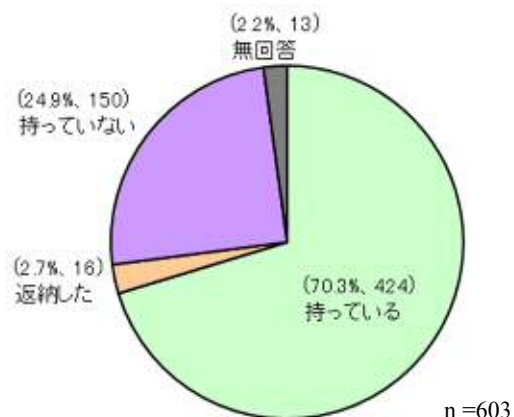
n = 603

職業



n = 603

住まい



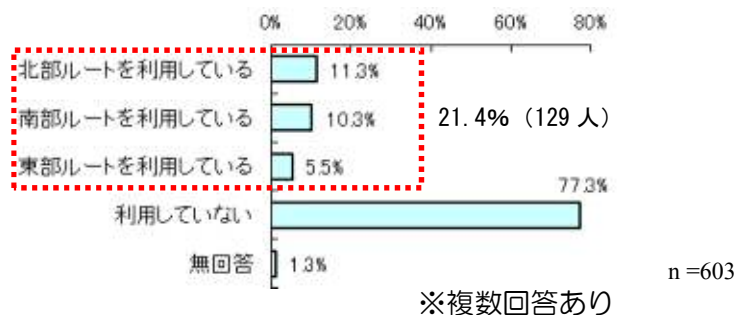
n = 603

運転免許保有状況

②きんちゃんバスの利用状況

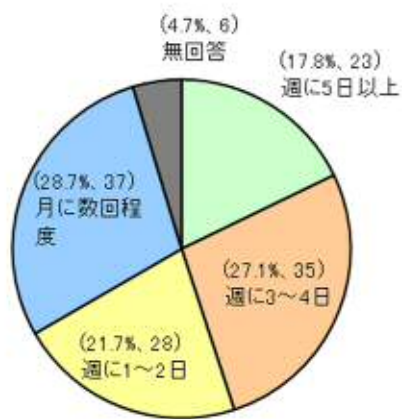
1) 利用の有無

- 「利用していない」が 77.3%と最も多く、利用しているのは 21.4%（129 人）となっている。

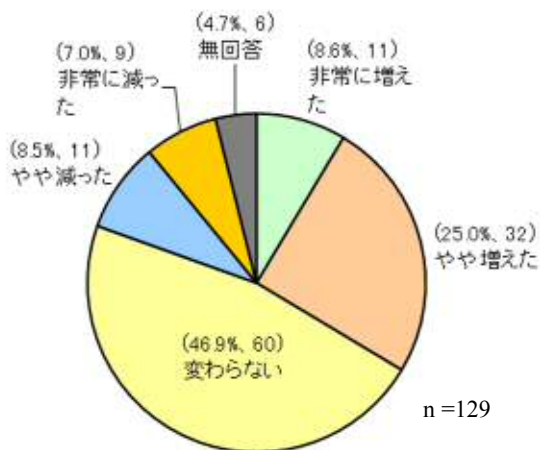


2) 利用頻度

- 「月に数回程度」が 28.7%と最も多いが、他とあまり大きな差はない。
- 昨年と比較した場合の利用頻度は、「変わらない」が 46.9%と最も多く、「非常に増えた」「やや増えた」のは 33.6%となっている。
- 利用頻度が増えた理由としては、「通院のため」（通院の頻度が増えた）が最も多く、11 人となっている。
- 利用頻度が減った理由としては、「時間が合わなくなった」（ダイヤ改正や減便）が最も多く、11 人となっている。



利用頻度



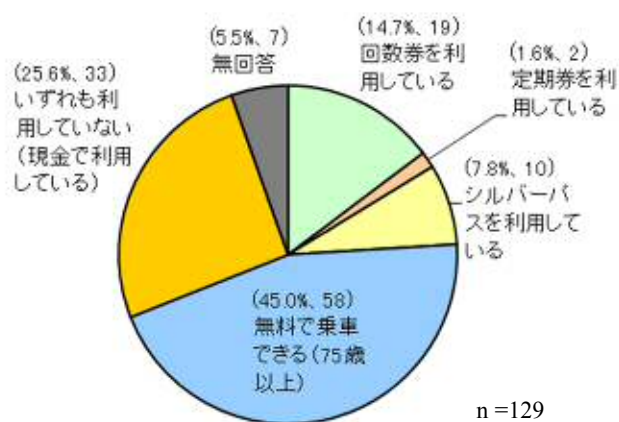
昨年と比較した場合の利用頻度

増えた理由	人数
通院のため	11
便利、安い	2
買物	2
通学	2
その他	11
無記入	9
計	37

減った理由	人数
時間が合わなくなった	11
高齢のため	2
その他	5
無記入	2
計	20

③回数券、定期券、シルバーパスの利用状況

- 「無料で乗車できる（75歳以上）」が45.0%と最も多くなっている。



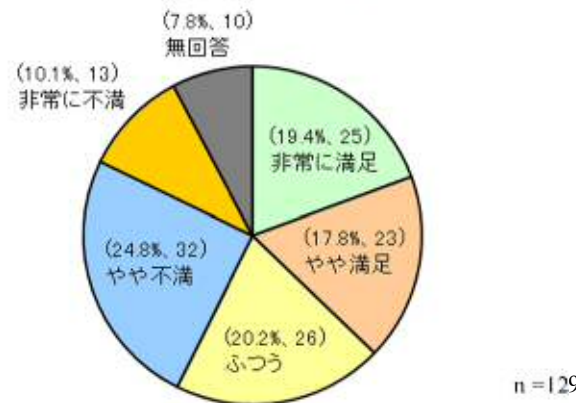
④利用目的

- 「通院」が54.3%と最も多く、「買い物」や「公共施設への用事・利用」も多くなっている。



⑤満足度

- 「やや不満」が24.8%と最も多くなっている。
- 「非常に満足」と「やや満足」を合わせると37.2%、「非常に不満」と「やや不満」を合わせると34.9%となっており、ほぼ同程度となっている。



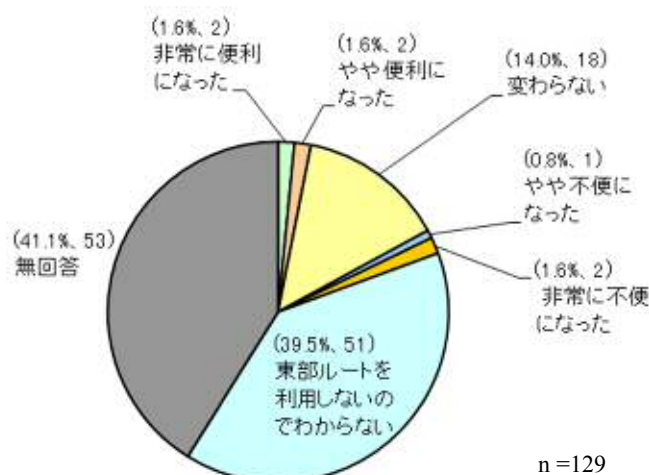
満足な理由	人数
運転手が親切	10
便利	5
停留所が近くなった	3
居心地が良い	2
その他	10
無記入	18
計	48

ふつうな理由	人数
本数が少ない	1
日曜日に運行していない	1
天気の良い日は便利	1
無記入	23
計	26

不満な理由	人数
本数が少ない	20
時間が合わない 朝や夕の便がない	12
バス停がない 遠い	3
時間がかかる	3
その他	4
無記入	3
計	45

⑥東部ルート of 飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎ改善のためのダイヤ改正について

- 無回答や東部ルートを利用していない方を除くと、「変わらない」が14.0%と最も多くなっている。

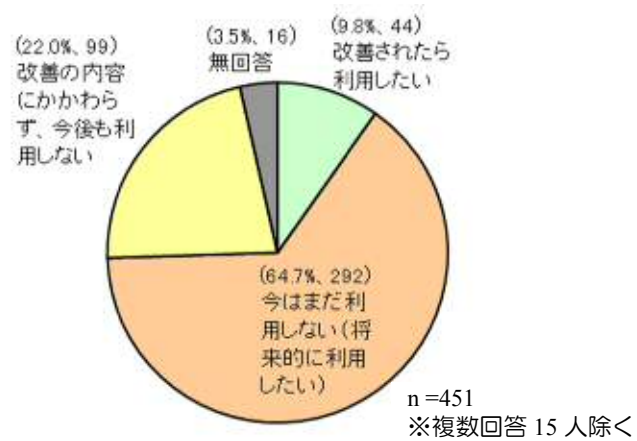


不便になった理由	人数
時間が早くなった	1
乗り継ぎ時間が長くなった	1
病院に行くのに時間がかかる	1
計	3

※便利になった理由の記入者なし

⑦未利用者の利用意向

- 現在、きんちゃんバスを利用していない方の今後の利用意向としては、「今はまだ利用しない（将来的に利用したい）」が64.7%と最も多くなっている。
- 改善して欲しい点としては、「増便」が17件と最も多く、「バス停の増設」も多くなっている。

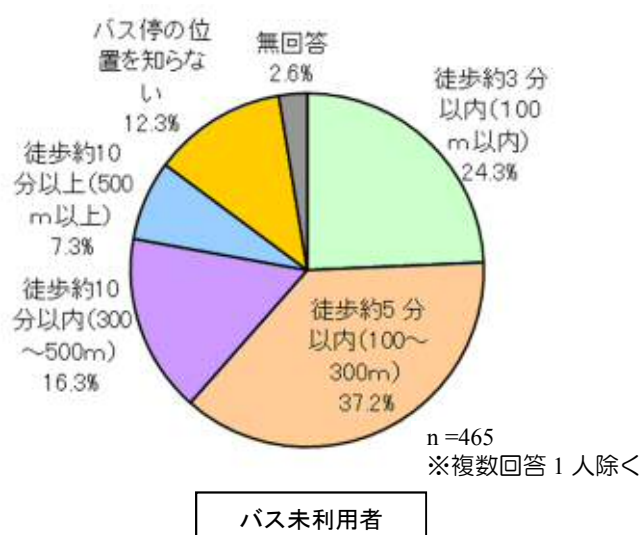
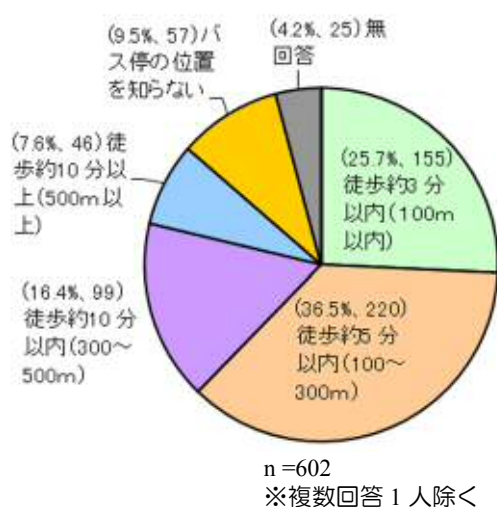


改善して欲しい点	件数
増便	17
バス停の増設	16
始発を早く	6
終発を遅く	6
料金を安く	6
ルートの変更や追加	6
ルートが分かりにくい	3
時刻表が欲しい	3
鉄道との乗り継ぎ改善	2
その他	6
計	71

※複数回答あり

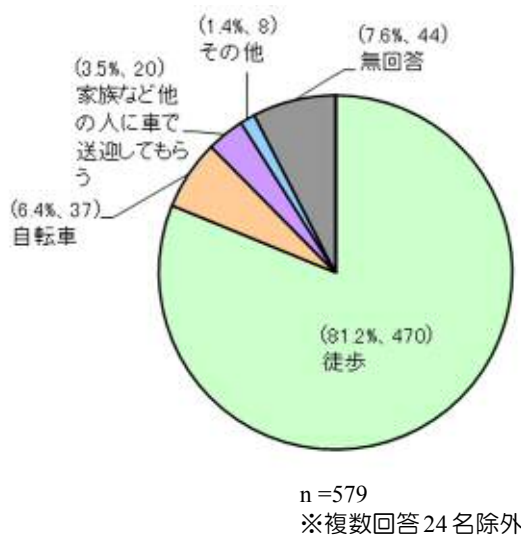
⑧バス停までの距離

- バス停までの距離は「徒歩約 5 分以内」が 36.5%と最も多くなっており、「徒歩約 3 分以内」も含めると 62.3%と半数以上の方が比較的バス停に近い位置に居住している。
- バス利用者では、「徒歩約 5 分以内」が 32.6%と最も多くなっており、「徒歩約 3 分以内」も含めると 64.3%の方が比較的バス停に近い位置に居住している。
- バス未利用者では、「徒歩約 5 分以内」が 37.2%と最も多くなっており、「徒歩約 3 分以内」も含めると 61.5%の方が比較的バス停に近い位置に居住しており、バスの利用の有無で大きな差はない。
- 「バス停の位置を知らない」は、バス未利用者では 12.3%となっている。



⑨最寄りバス停までの主な移動手段（未利用者は想定で回答）

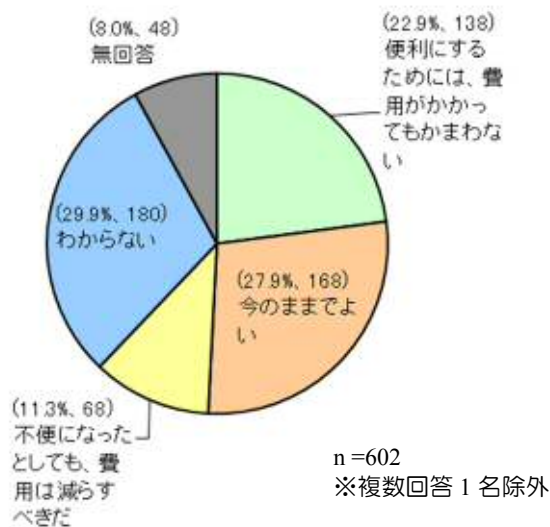
- 最寄りバス停までの移動手段は、「徒歩」が81.2%と多くなっており、次いで「自転車」が6.4%と多くなっている。
- 「自転車」の場合に利用する駐輪場としては、「総合福祉センター」が32.8%と最も多くなっており、次いで「白鳥コミュニティセンター」が15.5%と多くなっている。



自転車の場合に利用する駐輪場

⑩今後のきんちゃんバスの運行維持について

- 「わからない」を除くと「今のままでよい」が27.9%と最も多くなっており、次いで「便利にするためには、費用がかかってもかまわない」が22.9%と多くなっている。



1-3 福祉タクシー

1-3-1 心身障害者福祉タクシー料金助成事業

- 弥富市では身体障害者手帳（1～3 級）や療育手帳（A、B 判定）、精神障害者保健福祉手帳（1、2 級）を有する方など、1 人で移動できないなど移動に制約のある方を対象にタクシー料金助成事業を行っている。
- 利用券の利用枚数や扶助費総額は増加傾向となっている。

心身障害者福祉タクシー料金助成事業の概要

目的	・心身障がい者（児）が日常生活を容易に行うためにタクシーを利用する場合、その料金の一部を助成し、福祉の増進を図る。				
対象者	・1 級から 3 級までの身体障害者手帳を有する者（児） ・A 判定又は B 判定の療育手帳を有する者（児） ・1 級又は 2 級の精神障害者保健福祉手帳を有する者（児） ※平成 24 年より自動車税・軽自動車税の減免を受けている者については交付対象外				
利用券 交付枚数	年間 48 枚				
	区分		利用可能枚数	助成額	
助成額	一般タクシー		1 回の乗車につき 2 枚まで	1 枚目：基本料金（障がい者割引分を控除した額）及び迎車回送料金 2 枚目：基本料金（障がい者割引分を控除した額）相当分以内	
	リフト付き タクシー等	車いす ストレッチャー	1 回の乗車につき 1 枚	1,500 円 2,000 円	ただし、実際に要した額がそれぞれに満たないときは、実際に要した額

心身障害者福祉タクシー料金助成事業の利用状況

	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
利用枚数（枚）	6,436	9,232	10,075	8,568
扶助費総額（円）	4,461,860	5,863,800	6,318,840	5,591,720

1-3-2 高齢者等福祉タクシー料金助成事業

- 弥富市では要介護認定又は要支援認定を受けた方など、1人で移動できないなど移動に制約のある方を対象にタクシー料金助成事業を行っている。
- 利用券の利用枚数や扶助費総額は増加傾向となっている。

高齢者等福祉タクシー料金助成事業の概要

目的	・要介護高齢者等が医療機関に通院するためにタクシーを利用する場合、利用券1枚につき基本料金及び迎車回送料金を助成し、福祉の増進を図る。
対象者	・介護保険法の規定により要介護認定又は要支援認定を受けた者
利用券 交付枚数	・年間 24 枚

高齢者等福祉タクシー料金助成事業の利用状況

	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
利用枚数（枚）	4,780	4,918	5,613	6,014
扶助費総額（円）	3,231,740	3,315,710	3,853,570	4,097,790

※平成 24 年度申請者数 596 人

2. 上位・関連計画

2-1 弥富市総合計画(平成 21 年 3 月)

2-1-1 基本構想 (平成 21 年 3 月)

◆計画期間

平成 21 年度～平成 30 年度の 10 年間

◆将来像

みんなでつくるきらめく弥富
自然と都市が調和する元気交流空間



◆人口目標

平成 30 年度 46,000 人

◆政策目標

政策目標 1 定住と交流、活力を生むやとみ ○道路・交通網の充実	政策目標 2 快適で安全・安心なやとみ	政策目標 3 健やかでやさしいやとみ
政策目標 4 人が輝き文化が薫るやとみ	政策目標 5 豊かで活力に満ちたやとみ	政策目標 6 共につくる自立したやとみ

◆重点構想

重点構想 1 安全・安心のまちづくり構想	重点構想 2 環境先進のまちづくり構想	重点構想 3 生涯健康のまちづくり構想
重点構想 4 全市交流拠点のまちづくり構想 ○巡回福祉バスの充実	重点構想 5 教育・文化のまちづくり構想	重点構想 6 協働のまちづくり構想

○：施策項目および主要な取り組み（公共交通に関連するもののみ抜粋）

2-1-2 基本計画（平成 26 年 3 月）

◆計画期間

平成 26 年度～平成 30 年度の 5 年間（後期基本計画）

◆施策項目

○道路・交通網の充実

【目的と方針】

- ・交通の要衝のまちとしての機能を一層強化し、市の発展可能性を高めるとともに、市民の安全性・利便性の向上を図るため、道路網の計画的な整備、公共交通機関の充実に努めます。

【主要施策】

- ・コミュニティバスの充実
→コミュニティバスについて、市民生活のため移動手段確保や公共交通空白地域の解消をはじめ、地球温暖化防止、高齢者の外出機会の創出のため、利用促進のための施策を実施するとともに、効果的な運行体制を検討し、その充実に努めます。

※施策項目および主要な取り組みは、公共交通に関連するもののみ抜粋

2-1-3 実施計画（平成 25 年 4 月）

◆計画期間

平成 25 年度～平成 27 年度の 3 年間

◆実施計画事業

○道路・交通網の充実

事業名	事業内容	実施（予定）		
		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
コミュニティバス運行事業	弥富・佐古木駅を乗継拠点とし、病院、ショッピングセンターなど市民生活の利便性向上、高齢者を始めとする交通弱者の移動手段確保及び二酸化炭素排出量の削減により環境負荷の少ない都市を目指してコミュニティバスを運行する。	○	○	○

※実施計画事業は、公共交通に関連するもののみ抜粋

2-2 弥富市都市計画マスタープラン(平成 21 年 3 月)

◆計画期間

平成 21 年度から概ね 10 年間

◆都市の将来像

みんなでつくる

きらめく弥富

自然と都市が調和する

元気交流空間

◆人口目標

平成 30 年度 46,000 人

◆都市づくりの目標と基本方針

【目標】

弥富駅を中心とした、
便利さとゆとりを備えた
定住環境づくり

水郷のまちとしての
豊かな自然を守り、
共存・調和する環境づくり

国際港湾や国土軸を
活かした活力ある
産業・交流環境づくり

【基本方針】

■自然と調和した市街地の形成
■市街地内の土地利用の適正なコントロール
■住み続けたい、住み続けられる住環境の形成
○高齢化社会の進行を踏まえ、歳をとっても安心し、元気に暮らせる住環境を整えるため、巡回福祉バスなどの公共交通ネットワークの充実、歩道や駅などの交通施設のバリアフリー化といった、高齢者に対応した都市施設の整備、強化を進めます。（一部抜粋）

■美しくのどかな環境・風景の保全
■水と緑の拠点・ネットワークの形成
■安全・安心の環境の形成

■国際的な物流拠点を活かした産業の活性化
■幹線道路沿道の有効利用
■都市をつなげる交通ネットワークの形成

※基本方針の内容は、公共交通に関連するもののみ抜粋

◆将来都市構造



◆分野別都市づくり計画

○道路・交通づくりの方針

【基本方針】

- ・公共交通は、JR 関西本線、名鉄尾西線、近鉄名古屋線と 3 つの鉄道があります。公共交通の重要性が増すなか、各路線の利便性の向上を促進するとともに、弥富駅を中心に高齢者をはじめ、すべての人が利用しやすい交通環境の整備を図ります。また、バスは、利便性の向上を目指し、路線網の充実を図ります。

骨格道路網の形成 【施策体系】 ①広域幹線道路の整備 ②都市内幹線道路網の整備 ③市街地の骨格整備	美しく安全な道づくり 【施策体系】 ①美しい交通環境づくり ②自転車道・歩行者空間の充実	公共交通の充実 【施策体系】 ①交通拠点の整備 ②バス、鉄道の充実
---	---	--



【整備・誘導の方針】

①交通拠点の整備

弥富駅、佐古木駅ともに名古屋市などへの通勤・通学利用が多い駅であることから、自動車や自転車から鉄道に乗り継ぐ P&R（パークアンドライド）利用者を想定した交通結節点機能の充実に努めます。

複数の公共交通機関が結節する弥富駅周辺については、駅前広場等の整備により交通結節点機能の強化を図ります。また、駅から周辺の集客施設等へのアクセスについて、駅構内をはじめとする施設のバリアフリー化を図るとともに、ユニバーサルデザインの視点から、すべての人が円滑に移動できる利用しやすい交通環境の形成に努めます。

さらに、JR・名鉄弥富駅の橋上駅舎化の促進や、JR・名鉄弥富駅と近鉄弥富駅の連絡性の向上を図るなど、利便性の高い交通拠点の形成に努めます。

一方、佐古木駅についても、(一)子宝愛西線の整備にあわせ、駅北側の駅前広場等の充実を進めます。

②バス、鉄道の充実

鉄道の充実については、JR 関西本線及び名鉄尾西線の複線化を要望し、広域的な公共交通の利便性向上に努めます。

バスについては、現在、本市では主要な公共公益施設等を結ぶ福祉目的を主とした地域の足として、「巡回福祉バス」を運行していますが、今後は市民の日々の暮らしにおける移動手段としての利便性向上はもとより、地球温暖化の抑制に向けた CO2 の削減、高齢者等の外出機会の支援なども見据え、地域公共交通サービスの充実を図るものとし、効率的かつ適正な運行体制を検討し、利用者サービスの向上や運行ルート of 充実に努めます。

※分野別都市づくり計画は、公共交通に関連するもののみ抜粋

2-3 弥富市地域公共交通総合連携計画(平成 22 年 3 月)

◆計画期間

平成 22 年度から平成 24 年度の 3 年間

◆基本方針

市内バス運行の改善・充実

移動手段としての利便性向上はもとより、地域公共交通サービスの充実を図るものとし、効率的かつ適正な運行体制を検討し、利用者サービスの向上や運行ルートの実施に努め、積極的な公共交通政策の展開を図る。

生活交通の確保・充実

市民の基本的な生活と社会参加の機会を確保するため、高齢者や学生などの自家用自動車による移動が困難な交通弱者をはじめとする移動手段の確保に努め、市民生活の利便性の向上を視野に入れた公共交通政策の展開を図る。

環境への対応

地球温暖化など環境問題への意識が高まる中で、二酸化炭素排出量の削減等により環境負荷の小さい都市を目指すため、公共交通等を適切に利用することを促すと同時に、市民の理解を深めていく。具体的には、地域公共交通と自家用自動車・自転車・徒歩などの交通手段の適切な役割分担や複数の公共交通機関の乗継など環境に考慮した公共交通体系の確立を図る。

◆目標

市内バス運行の改善・充実

- ・低層バスの導入（バリアフリー対策、環境対策）
- ・利用実態とニーズ（通勤・通学、通院等の目的）に即した運行形態・時間帯・ルートの構築
- ・近鉄弥富駅、ダイヤとの接続
- ・市民ニーズや地域の実情に応じた位置へのバス停の設置、環境整備
- ・潜在的なバス利用者の掘り起こしによる公共交通システムの活性化
- ・周辺自治体の公共交通との連携

高齢者や学生等の交通弱者への対応

- ・市民の日々の暮らし（通学・通院・買い物等）を支えるための必要な移動手段の確保
- ・地域住民ニーズの把握と公共交通運行システムへの反映
- ・高齢者の社会活動参加機会拡大による地域の活性化（市の行事や各種活動参加、地域の拠点との連携等）
- ・地域、利用者、事業者との連携・協力

公共交通サービス水準格差の解消

- ・地域住民（地域特性）ニーズの把握、反映

3. 問題点・課題の整理

現状

人口

人口の増加とともに、少子・高齢化も進展

- ・人口・世帯数ともに増加しているが、少子・高齢化も進展
- ・名古屋市を中心に、愛西市や蟹江町、津島市などとの人口流動のつながりが強い

利用実態調査

バス停乗降者数調査結果

全体での乗車実績はダイヤ改正前より改善

- ・全体では利用が増加
- ・南部ルートで利用が減少

乗り継ぎ改善効果が見られない

- ・飛島公共交通バスとの乗り継ぎがない

少ない1便あたり乗車人員

- ・1便あたり5～10人程度と少ない

利用者の多くは高齢者で、利用目的はルートにより異なる

- ・約半数が65歳以上
- ・「通院」のほか、北部ルートは「買い物・外食・娯楽」、南部ルートは「通勤・通学」、東部ルートは「公共施設への用事・利用」が多い

住民・利用者アンケート調査

利用状況が低い

- ・利用している割合は約20%

将来の利用意向が多い

- ・今はまだ利用しない（将来的に利用したい）が64.7%

増便や運行時間帯の拡大、バス停の増設への要望が多い

- ・改善された場合の利用意向は約10%
- ・増便や運行時間帯の拡大、バス停の増設要望が多い

運行費用について、今後も現在の運行を望む人が多い

- ・「今のままでよい」が約30%
- ・「不便になったとしても費用を減らすべき」は約10%と少ない

収支

収入が減少

- ・年度別月平均収入が減少傾向

運行経費が減少

- ・H22年度に比べH24年度の月平均運行経費は約6割まで減少

収支は改善

- ・収支、収支率ともに改善傾向

展開中の周知・利用促進策

料金負担の軽減や利便性の向上等による利用促進策や周知活動を展開

- ・無料パスカードの配布、定期券・回数券・シルバーパスの販売、サイクル&バスライド駐輪場の設置、ダイヤ変更のポイントや、定期券等の販売情報、近鉄や飛島公共交通バス蟹江線への乗り継ぎダイヤなどを記載した時刻表の全戸配布、無料お試し乗車券の全戸配布などを実施

無料お試し乗車券により、利用者が増加

- ・利用者の多くは65～74歳の高齢者
- ・43名が初めてきんちゃんバスを利用

その他公共交通との乗り継ぎ

弥富市周辺を運行する他自治体のバス4路線のうち、乗り換え可能な路線は2路線

- ・飛島公共交通バス蟹江線及び飛島コミュニティバス、木曽岬町自主運行バス中央線及び源緑見入線が運行
- ・乗り換え可能なバス停があるのは蟹江線及び木曽岬町自主運行バスの2路線
- ・平成25年10月1日に、東部ルートと蟹江線との乗り換え利便性を考慮したダイヤ改正を行っており、時刻表にも乗り換えダイヤを記載

鉄道とは2駅で乗り換えを考慮したダイヤ編成

- ・近鉄名古屋線の弥富駅および佐古木駅への乗り換えを考慮してダイヤ編成されており、時刻表にも乗り換えダイヤを記載

福祉タクシー

2つの事業を展開

- ・「心身障害者福祉タクシー料金助成事業」「高齢者等福祉タクシー料金助成事業」を展開

1人での移動に制約のある方を対象に事業展開

- ・「心身障害者福祉タクシー料金助成事業」は、身体障害者手帳(1～3級)や療育手帳(A、B判定)、精神障害者保健福祉手帳(1、2級)所有者を対象
- ・「高齢者等福祉タクシー料金助成事業」は要介護認定又は要支援認定を受けた方を対象

上位・関連計画

みんなでつくるきらめく弥富 自然と都市が調和する 元気交流空間

◆人口目標

平成 30 年度 46,000 人
(平成 22 年 43,272 人)

弥富市総合計画(平成 21 年 3 月)

○コミュニティバスの充実

○平成 27 年度までの実施計画事業
に「コミュニティバス運行事業」

弥富市都市計画マスタープラン
(平成 21 年 3 月)

○高齢化社会の進行を踏まえ、歳を
とっても安心し、元気に暮らせる
住環境を整えるため、巡回福祉バ
スなどの公共交通ネットワーク
を充実

○市民の日々の暮らしにおける移
動手段としての利便性向上はも
とより、地球温暖化の抑制に向け
た CO2 の削減、高齢者等の外出
機会の支援なども見据え、地域公
共交通サービスを充実

○効率的かつ適正な運行体制を検
討し、利用者サービスの向上や運
行ルートを充実

弥富市地域公共交通総合連携計画
(平成 22 年 3 月)

※計画期間が平成 24 年度まで

○市内バス運行の改善・充実

○生活交通の確保・充実

○環境への対応

課題

将来を見据えた、公共交通による生活交通サービスの確保・維持

- ・高齢化の進展に伴い、自動車を運転できなくなる人も増加
すると考えられることから、公共交通の必要性について共
通の認識を持ち、持続性のある生活交通サービスとして維
持・確保していくことが必要
- ・利用者の多くが高齢者であることも踏まえ、車両サイズの
見直しにおいては、バリアフリー対応の車両導入が必要
- ・車に過度に頼らず、環境負荷の低減(CO2 削減)を図るた
めに、車両サイズの見直しにおいては、環境対応の車両導
入が必要

〔ポイント〕

- 公共交通の必要性に関する共通認識
- 車両のバリアフリー化
- 環境対応車両の導入

ニーズに即した運行改善

- ・地域(ルート)により、利用目的が異なるなど、それぞれの
特性を加味したさらなる効率的な改善が必要
- ・利用実態を踏まえたバス車両の更新が必要
- ・乗り継ぎが少ないなど、きんちゃんバス相互や周辺自治体
との連携を視野に入れた運行改善の検討が必要
- ・福祉タクシー利用者は、1 人での移動に制約のある方が多
く、現状のきんちゃんバスの利用は困難

〔ポイント〕

- 地域特性や利用特性(ニーズ)に応じた運行改善
- 車両サイズ見直し ●乗り継ぎ改善

適切で継続的な情報提供による利用促進

- ・現在展開している施策の周知のほか、きんちゃんバスの果
たす役割やメリットについて啓発し、さらなる利用促進を
図ることが必要
- ・鉄道(近鉄)、福祉センター、イオン利用者などターゲッ
トを明確にした利用促進活動の検討が必要
- ・現在展開している利用促進策などの継続的な展開と周知が必要

〔ポイント〕

- 分かりやすい情報提供
- 継続的な利用促進策の展開と周知

地域で守り育てる体制の展開検討

- ・商業施設や病院、企業による協力、地域におけるサポート
の継続的展開が必要
- ・財政的には厳しい状況は変わらないため、地域の集まりの
場や協議会を活かした、存続に対する危機感等を共有する
場の創出が必要

〔ポイント〕

- サポート体制の継続的展開 ●地域協働の取組み促進

次のステップに向けた新たな目標と計画

- ・現在の地域公共交通総合連携計画は、実証運行を通じて、本格
運行に向けた計画となっており、平成 24 年で計画期間が終わ
っている。また、これまでも計画に位置付けられた施策等を展
開し、一定の成果を上げているものと考えられるため、次のス
テップに向けた新たな目標と計画を策定することが必要

〔ポイント〕

- 新たな地域公共交通総合連携計画の策定

4. 第2期弥富市地域公共交通総合連携計画

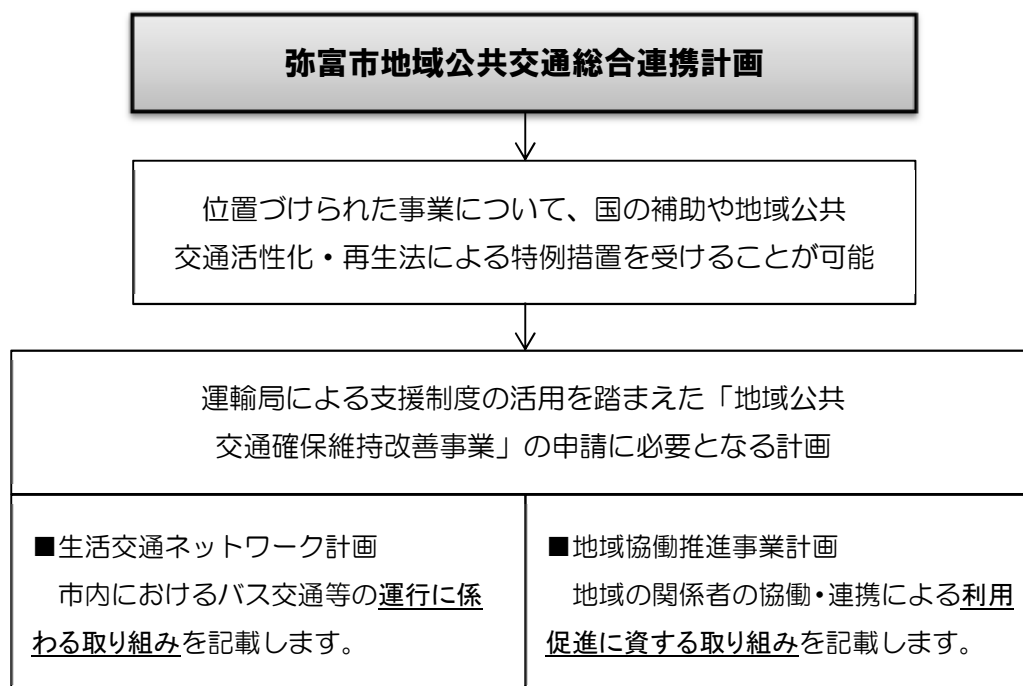
現在の「弥富市地域公共交通総合連携計画」の実施期間は平成 22 年度～平成 24 年度の 3 年間とされており、計画期間が終わっている。また、これまでも計画に位置付けられた施策等を展開し、利用者の増加や運行の効率化などにより経費が削減されるなど、一定の成果を上げているものと考えられる。

そこで、次のステップに向けた新たな目標と計画を定め、新たに「第2期弥富市地域公共交通総合連携計画」（以下「本計画」とます。）として、地域公共交通の確保・維持・改善に向けた事業を推進する。

4-1 計画期間

本計画の目標および計画期間は、上位計画である「弥富市総合計画」（平成 21 年 3 月）や「弥富市都市計画マスタープラン」（平成 21 年 3 月）の目標年次（平成 30 年度）を踏まえ、**平成 26 年度からの 5 年間（平成 30 年度）**とします。なお、本計画は、各上位計画の見直しや社会情勢の変化等に合わせて、適宜必要な見直しを行います。

4-2 計画の内容



4-3 基本方針

市民生活と地域を支える持続可能な地域公共交通の確保・維持

地域公共交通は、高齢者や学生など自動車を利用できない人が、日常生活を営む上で必要不可欠な移動手段です。今後、人口減少や高齢化の進展が予測され、また地球温暖化防止に対する取り組みの必要性が高まる中、市民の将来にわたる暮らしの安心を確保するためにも、地域公共交通の果たす役割がますます重要となります。

そこで、市民生活と地域を支える地域公共交通として、利用者の減少による運行本数の減少などのサービスの低下を招き、さらに利用者の減少を招くという悪循環をなくし、使いやすく効率的で、持続可能な地域公共交通へと発展し続けるために、地域特性や利用者特性に応じた継続的な改善を行います。

また、将来を見据え、交通弱者の移動を支えるために、分かりやすい情報提供を継続的に行うとともに、市民・行政・交通事業者等の協働・連携により創り、支える公共交通の仕組みづくりを行い、使いやすく環境にもやさしい地域公共交通として確保・維持します。

4-4 地域公共交通の連携の考え方

基本方針の実現に向けて、鉄道、きんちゃんバスの役割を明確にし、地域特性や利用状況に応じた効率的な公共交通を展開します。

■ 鉄道

広域的な移動手段として、きんちゃんバスへの乗継ダイヤを駅に掲示し、乗継環境の改善を図るなど、利用促進や利便性の向上を図ります。

■ きんちゃんバス

使いやすい市内の移動手段として、きんちゃんバス相互や周辺自治体が運行するバス、鉄道との乗継環境を改善し、利用促進や利便性の向上を図ります。

基本方針の実現に向けて、市、市民、交通事業者の役割を明確にし、参画と協働による取り組みを行います。

■ 市

情報発信や協議会、地域の集まりの場などを通じ、市民の公共交通に対する意識を高め、利用促進や公共交通の確保・維持・改善に努めます。

■ 市民

協議会への代表者の参加や地域の集まりの場での積極的な発言、公共交通の利用などを通じて、公共交通を自分たちでつくり、守り、育てていきます。

■ 交通事業者

利用者の安全を第一に考えた運行を行うとともに、さらなる利便性向上や収支改善に向けた努力や提案を行います。

4-5 基本方針に基づく目標と取り組み

市民生活と地域を支える持続可能な地域公共交通の確保・維持

■ 目標

●利用者数の維持

- ・効率的な公共交通への継続的な改善では運行便数の増減も考えられます。利用者数はこの運行便数の増減により影響を受けることから、より影響の少ない1便当たりの乗車人員について、現在の状況を最低限維持するとともに、継続的な改善と利用促進により、できる限り増加を目指します。

●高齢者の利用の増加

- ・現在も利用の中心となっている高齢者に着目し、高齢者が使いやすい移動手段であれば、みんなが使いやすいという考えのもと、継続的な改善と利用促進により、高齢者の利用者割合の毎年の増加を目指します。

■ 取り組み

地域特性や利用特性に応じた改善による効率化

◆取り組み施策

- ・地域特性や利用特性に応じた運行改善（ダイヤ、ルート、バス停位置等）
- ・車両更新時における適正な車両サイズへの見直し

料金負担の軽減による利用促進

◆取り組み施策

- ・75歳以上への無料パスカードの配布
- ・定期券、回数券、シルバーパスの販売

乗り換え利便性の向上による利用促進

◆取り組み施策

- ・周辺自治体と連携した乗り換え環境の改善（ダイヤ・乗り入れ等）
- ・きんちゃんバス相互や周辺自治体が運行するバスとの乗継券の発行
- ・サイクル&バスライド駐輪場の設置

人と環境にやさしい地域公共交通への改善

◆取り組み施策

- ・車両更新時におけるバリアフリーや環境（CO2削減）に対応した車両の導入
- ・ノーマイカーデーの実施（CO2削減）

分かりやすい情報提供による利用促進

◆取り組み施策

- ・分かりやすい時刻表の作成、配布
- ・ポケット時刻表の作成、配布
- ・乗り換えバス停への乗り換え時刻表掲示
- ・市 HP へのきんちゃんバスや周辺自治体が運行するのバスの情報掲載
- ・周辺自治体 HP へのきんちゃんバス情報掲載

認知度向上による利用促進

◆取り組み施策

- ・主要施設へのきんちゃんバス情報掲載
- ・イベントの場を活用したきんちゃんバスの周知活動の展開
- ・講演会や講習会の開催
- ・無料お試し乗車券の配布
- ・モビリティ・マネジメント（手法を活用した周知）の実施

地域で創り、支える仕組みづくり

◆取り組み施策

- ・弥富市地域公共交通活性化協議会の開催
- ・地域の集まりの場を活かした意見交換会の開催
- ・バス協賛金（広告）事業（時刻表、バス車両）の展開